事質とすればフランス政府はスペー 出したとの報道を重視し右報道が

、られる、果してこれが事實とす

命軍はモロツコ館民地に罷出して一家毀しこれら養殖軍は原服を主と

以來既に包日、翻司令フランコ聆

[マドリッド廿四日同盟] 右茲革

決戦迫る

「ロンドン」アシストと人民戦線の國際的抗策」るに至った、政府軍は步兵部隊大

| 「「アンデュ=南フランス型格」ない。 | 「アンデュ=南西」 | 宮地在留スペイン | 入中右窓 | 金地在留スペイン | 本で

死の防職に當つてゐるが、一方革 ラマ峠一帯に昼後の職線を敷き必

更に空軍機銃を縄動役してクワダーなき限り、クワダマラ峠を挟んで

| 兩軍の間に | 大決戦が展開するも 集結してゐるから骸骸に重大膨化

于を中心に野嶋山嶋の放列を敷き

の製造を容れ内距域限援助に乗り一多り巡に困事は入り罷れ避戦を展

明するに至った、砲撃は股々とし

r二十四日同盟] 二十二三日マドリッドの西北四十五キロ にある峠の脚門グロダラマ製製薬

と言はれる、脈箏の結果について

化の形勢濃厚

ファシストと人民戦線

諸國對立の危機に直面

な食定を行ふが、現在の所では各一財務局としては

**算は今月中に胚。網は土木事業費で約七千瓦囲を砂あるが、各島度 てゐる、新規要求複類項目の内臓** 

各刺令公布

独告の重き御儀も御命りな

省上り左の如く能表された

勢は一種し最正最新観武力としめない、しかるに朔羅航空の制動して居つた時代の城を脱して

億圓突破の模様

横綱は土木費の七千萬圓

部は公債財源で支辨か

兩陛下葉山 行幸啓

天皇陛下には

御陪釈、略式自動川園海にて 照派中上げ、皇帝陛下」は御 北服を召され、鈴木侍延長御

御出門東京郷に向はせられ、

陸軍が航空兵團創設

近く航空兵團司令部令を公布し

日から實施決定

防充實、空軍擴張の爲

能たる陸軍省、参謀本部、政府総

近く正式調印の模様

地にあらざるを以て各國共阪事能 計削を許されたが、その後を舞こ

記覧指井第一氏に對して例は厳治 フランス大使劇にその撤離方と要代理として赴任する大使劇問が書 しては園民政府は襲撃を解くため

岡か不明であるが、我が成都器気 | ボしつ、ある、他つて指井氏の欧 して來てゐないので、如何なる意

東亜勸業を買收

||態度を表明した。即ち成都が風塚||都行は不當であると云ふにあるが

表を転削せしめてあるが、右に動しべきではないと一笑に附してあるれを範囲しフランスのみ服在も代。事館を期間するに何勢不都合ある

側と交渉し東亜脚業買収談を進め一ツ政府の参加方を態がした、之 てゐたがほがあかないので、去る一計してディークホーフ版土は英、 自から認質版で満越と本所及び 出来る鮮朝指殖館此では函数|く開催さるべき五ケ國資福にド

議は決勢を思はせたが、背五日にし、三百萬國の喧闹きを生じ、衛 資料開係者が無まり最後的折断を 定、近く正式調整する模様であ 重ねてゐた、總督府では最初五百

豫備會商共同

ンミユニケ

**駅師フランス大便ポンセ氏、ベル** 大使ダガイニョン子、イギリ 獨に手交す

一般へてベルリンドイツ外が省を近 伸、白三國或府の勢力を謝し、ド

◆腓島義雄氏 (層製博士) 接脚の

いつた個々の解依著も、けふはす一般が見舞つた。 司や相馬の城主面真などー

助をプランスに誤うたとある、 スペイン政府が内閣設定の援

天地支黃

一分けて、ふたゝび趣館の角にあた **衛艇に尖つた匪は、群集をかき** 能か今朝の事を、難してゐ

自己の主義を徹さんが貧めに國

自分が殺人を犯した場

尊節親競男人のそばには、大統

る題り連絡をとつて在野形人の保めると共に失野公使との間に出来

サン・セバスチアンでは目下革命 ケー湾に跳び北部スペインの勝地 護に真道感なきを期せしめた L労働義男軍との間に猛烈が イン――二十四日同盟」ピス

イン政族五百名を整殺する背革命。正しない以上人質としてゐるスペ ・セバスチアンに避暑中の英米伊ル側に通告したと言はれる、サン 平次即も初めて、本気の正面に来 をみはりながら感いてあるので、 あれに、御敷部も 群集の顔がみな上を仰いで、 『ホウ、御本堂おや』

島田農相は融穀線があるので、 墺國が政治犯 人の釋放開始

の来省を一割干秋の思いで待ちわ

時間能りにわたつて日頃の抱名 でした問相に とまくした 州名の下に國内ナチス政治犯人に 「ウイン甘三日同盟」二十二日出

八にになった様子であるが形

の取締に大童である、二十四月ピ

佛右翼紙政府 の態度を攻撃

に假然甚大な衝撃を製へてゐる。に要請したとの最道はパリ各方面 ||編輯|||一下遊戲が極秘裡にスペイン は内電視脳の援助をフランス政府 飛行機二十五台、機關統七十五世 石製新聞は一十四日調報で早く 【バリ廿四日同盟】スペイン欧际 語よ、処天下の観が豪宇に貢けするだけのことで隣國の提けを 失けれてゐる、宜しく學主に從

燃援に 馳差じて ある でうに関き取れてゐる、剛闘の勝 **治軍は二十四日根據地パングロー** ッドよりは青シヤッ黒ズボンに身 ||近日|||記]|||革命軍北軍司令モラ 「バングローナ目北部スペイン 糧道を斷つ方針 革命軍首都を包囲

ドを語る八十年中の地監に逝出し

エンダル峠の激戦

**制政府を樹立** 

聞立を宜言次の如く確設した

カバネラ將軍が首班

「東京電話」スペインの革命影

ベイン革命事例を調査報告せ

のるに適ぎない。 むの何處かでは も、そつと話してゐるにちがひな 呼の器にただふらくと押されて て無鑑が血によごれたなんてこと のるに適ぎない。 なの何處かでは も、そつと話してゐるにちがひな であらに適ぎない。 は来の日だ。 ……それで、お苦の 要成と神經が休まらなかつた。 摂れ、あらゆる人間に向つて魅い 絶えず自分の犯した大罪の態態を

し、安心したでうな智もして来た。 から自分胼手に解釋をきめると 口を拭いてめ

十二個四面の新しい木の香にか 平天郎もあわて、坐つた。 /~と大地へ上下起し始めたので 急に、透りの高が、一層にべた と、彼は自分へつよくいつて開

**原には、おびただしい引りが強い** して、立つてある端がなくなつた。 源りまはされ、明かれた内師の御 山門から戦内の端すべて、一人と がやいてある伽藍には、繋の報が いや、その透りばかりでなく、 のである。恋の風に伏すやらに、

海神 歯 顔 靴 毒 番 外 腸 肌 強 逆 デ や あ 効 疾 痛 痛 痛 れ 虫 軟 傷 け れ



その時、本堂の内では今しも宮村 ひそかな騒ぎに、平次郎はそつ

要然、から順祝なさけび騒を揚った。 要然、から順祝なさけび騒を揚ったったっ人が頭がある中から、たった一人

の中に――戦闘のすぐうしらに、の御弟子たちが、いてゐたが、そ と歩き出したが、 ただ一人交じ ・・・オ・お吉に

一群場の中へ化 

世界の家庭藥

花 治 作 (291)

畵

憎いあせほ

可愛い

憎いあせぼも

このあせぼ だいじの子に

メンソレータムで

人り昭和六年六月退院、帰國しての治院演绎和を牽梁後大學院に政治院選和本華第京里和田大學院院 昭和五年東京里和田大學院院 衆 乾 (第三十四年) 万浦津中国領事館に柳動児在

イの根 操地 舊帝政ロシアの清津領事舘

不町署の金密輸事件

言視廳事件と連絡

日午明九時右那性の参考人として 質は脳長小郎主質氏は、応上廿五

の敗革案内容を提供した大砂省

ンガルオ業業

金塊の出所に疑びの眼

男とてその銀行計製は贈る旗重、「で目殺天堂」のる、三名の銀人はいづれる四十 人でし甘い

三井物産の明石山丸

ノ岬で坐礁す

自力雕礁の見込なし

使人、四十四人りの手提げ金加

は、世二日午前二時班事務等

なると勿論なり、何最後に特に、次第も其の意亦茲に存するもの **事務室内の語物品は昨二十四日・** 注意を以て之に臨み、 書飯事命 末に就ては関係者に於て萬金の 一一す、新領事館の後始

佐枝朝鮮軍參謀長談

を携帶して出動、閩内外を収置し

一般、場、場の速、道に無疑行立 いるのとなった。 のを述べる有線に一個人に固 があるの場がよる有線に一個人に固 する物品も同様本自途数と共に する物品を同様本自途数と共に

服場の揺な陰ぎを誠じてゐる 漢映面から器圏されたもので値長 脱正した熊豹は本年五月シヤム部 てゐるが未だに展見されない、何

上野動物園 黑い豹脱走す

| 歴史してゐるのを甘五日正午見|| 四大時は三人ともテゲを配にして、て妆を待ち、慢中には常に数十野部の熟新(牝)が露着を見健り。ので、三回にわたつて支那人を細、大門劉僧原因師でチゲを立て「東京鬼語」上 野久融験物職内職 | 3時の概容師の密心を窓話するも。| 育前で煮を延失汗さの肉ひ りに来た何音の西世紀三郎氏が起記|野菜の買出しを装ひ、 住民避難し大騒ぎ 総と綱を指列の形金を映像してるる等その大

現住所 清津府県治町一四ノー

育師の器不部西大門塔の向ひ側を





表心假

本人主義 (1970) (1

22

朝鮮貯蓄銀行 大月巻辞日現在) 一部 一部、三門ではまた

會法

|機器を行ひたる自新駐荷戦中||我軍事機能事項を探知し、これを規模を行ひたる自新駐荷戦中||我軍事機能事項を探知し、これを月廿五日午前九時)去る七月十一数路須離に収入等の供遞により、 本関各方面に報告しつゝありたる 名送局さる に関重取割べの結果押 ける朝鮮軍司令部から發表

M

6 配理整計上り來消せるものない。 おは昭和五年一月頃韓国辺立語

贈贈さきろル

大藏省國債課長

小原氏を取調

取引所事件の参考人

川高成が下面を襲つた時には姿を山石成方へ纏つたが、郭削いて龍 回四七銭を読み下宿先元町二丁月 源 洪 (當二十九年)

|鑑正し、古野戯長以下職付け職内||通りの菓デパートで地独義余明版||に問題と地に謝局する話、大麗さとなり直もに一般の入職を一つて経家に引上げ、開始本は本町||版な反面を制造ってゐる、

るものなり 出生地 長崎縣長崎市大浦町、西野 中華美國

☆掲段館、李映西、除其法、児習| 数多の確認を得るに至れり、依つ |孝潔洪の七名に載しては、鷳||清散地万法院に必致せりなび小陳石別基、消離府在住地|| て本廿五日一佐書額と共 一十五日尚健地方法院に送

定其の略闘等左の如し

三郎氏)の古宮屋野が鮮巣館で徳一金の敷設につき嵌めて観査を開始のとした金塊配齢器駐事室は、そ そうけ連月に亘って取割べられて心とした金塊配齢器駐事室は、そ そうけ連月に亘って取割べられて心とした金塊配齢器駐事室は、 あることが鳴って取割べられていました。

理部京城の

間後士 原門にわたつて 二萬五千餘

みなきものの如し 丸(四、二五〇噸)船長西山次衛(総属分を受けた街の駅上は二萬四川(湖ノ郷無電)三井物産の明石山(おやないかアーン)と武器の上科 総翻成芸で異職、自力監職の見込 氏以下那般以三十名は、二十五日 午前八時頃過霜のため紀州湖ノ岬 料房分を受けた街の男士は二萬四

所に領事を察入れた制は八千九百万人百九十五名、その外に数に属

全般天氣豫報為

サイルが日本第一の声質で最 ・ でする場合です。 ・ でする。 ・ ではなり、 ・ できる。 ・ で

ま是は品タ せ非無のイ ん◆い如ル

關係密接

食慾と

調味料は

+

味源

メガネ 時計と

2時目 西店

本, 好應定配 本, 好應定配 本, 好應定配 本, 好應定配 大, 好應三配 大, 好, 大, 好應三配 熟慮し十分なる詮衡 - 柴原有雄、小桐富男 | 今、古田つわ子、守岡ハッ子、 ・ 柴原有雄、小桐富男 | へ四百米リレー 小島一枝、竹貞

を斬り殺して

鑑飾に提出した、馬術は二十五 ンドリーは二十四日左の如く決定 【ベルリン二十四日同盟】 版術エ

圓を詐取してゐたことが興期する

京城西大門器では厳暴した帰権犯

人を連目深度まで取調べ、計五日一

馬術代表決る

岩龍學中國、四行一六國

「益々濃厚となったが、各選手と

の提出される廿四日末四郡島

松澤軍頭コーチ、

大概な (元)降家の 悲女 第已娘

の即先者を出した脱墨は鮮血にましは去る廿日郡妙な言葉を残して家

の複雑はなさんできで、犬と一寸

鎮南浦痴情の慘劇

世岸の遊船曹龍丸の船頭軍 近の女性が消ひ込る自殺、折よく其四日午後一時頃級江根から世縁

罪訟契(この財徒が深いで行う

心威北 右同 右同

五章 八章 一章 一章 一章 一章

衣笠産婦

城南大門通四八六九 (米倉町停留所斜

夏の强敵

だ)の個人を斬り即死せしめ、

老姿謎の家出

原城館河

器へ懸貨順ひ、風歌は家人にも糖出、燥らないのでせ五日明四大門

坂本町汽合近飛車部長、復飛車は「ることが判別した、関人は昭和八一田柿木匠に関げさせ、津田氏は伊「中に男から来た手観があつた、暗毛色の壁った節代の津釈狼人、原「年以来全鮮を散にかけた曲者であ」と称して自分あてに帰物をなし津「鹿が冷峻で往急中、廿四日屋前の毛色の壁」と称して自分あてに帰物をなし津「鹿が冷峻で往急中、廿四日屋前の 店に止論中自分を億州さすために、と思込んであるのを祈渇とし伊幽(年三月京城黄金町三丁月池田材本)と認かな好の契奴師と近づきがある。 本町署で檢舉し舊悪露見す は自分は今百八十萬圓でコバルト と思込んであるのを奇蹟とし伊藤一の妻女に関けば判ると思つて郭女 間したが聖領を得ず、親語な際家 を呼び、耐人を並べて結論したが 年北から廿一日曜宅した屋裏の

1四百米自由型 鹅膝傻平、根上

遊佐正憲、新井茂、

米国由型。岩田号、石原一城本町湾行直無事部長、推無事は、継帰段平

数目削から競技け詐欺犯人として

小池村二、東宝城・勝之五県(ま)が、第外にも昭和八一丁子暦に行き、本居の東安師から。 ・ 『日本』 取調べ中の島が無生れ前科大級は「歴に正常中自分を信託さてために

んでゐるが、極々懸菌の結果を

ーを提出した

**言葉功にさそひかけ、部田氏から、となり現行に及んだもので、鉄廠を採掘中だが一口のつではと、二人とも言葉が曖昧なので、** 

九百餘名が中毒 東都防空演習後の騒ぎ は劉雄能別技権行し各署では今ま **絵裏町六八先でまんまと酢取しず** 従李昇節者("A)に持たせて同行、 ピール一本と釣銭九圏卅二銭を店

折詰め辨當で

になれず中部以北土前籍の6名2人 西北部地方に降ったので、代作が住時間中で、仁川観測所の副哲 今朝の朝は早書に因つてゐる中で京城、仁川、元山及卷山地方は「暗域語では錦る

2月日収から廿五日側にかけての 一部、北部に於てなほ陸南を必要と

し、南鮮地方はこれ以上の降雨は

仁川電話 あず二十六日の日

中部北部は尙欲しい

14付を守つても間に合ふと思ふで書が南鮮地方だと今朝の時で12時で水不足の厨は勿論大助り

▲成律五▲元山一八▲江陂 てゐるが、全館的に見れば蘇南だ「川三五▲京城四」 ▲雄 てゐるが、全館的に見れば蘇南だと思られ

大助りだ。右に就いて本府

丁後、東京市後京縣松栗町分融、 九百六十八名に上り、尚城大の板「東京監査」二十四日附至部門鉄 中郷を起し、二十五日午町中祢諸

同島新雄町分職、荒川四日募里第一級あり、陸軍へ降戦校から軍隊、丁後、東京市後草縣校東町分離、「九百六十八名に上り、尚職大の派」

抱査に努めてゐるが、各商店でも

三分階などそれと、影響に近島県、景源野から商生官が出張。

から思ることで、銀路製では服人「見ると黄海道が四千八百三十六名。 世四日夜十一時間京城梁随町一〇一て欲しいと言つてゐる 依然としてこの犯行が敬襲してゐ」この中一番多いのは「皆憾形で は釣鎖距射波域行し各割では今ま「中に階限や緊急硬で即決協分を受を勝ました。今春以来京城府内に「本所獲物局の調査によれば、昨年 口新商店へ廿五歳位の男が思れ、 飲名の個人を搬職してゐるが、 けた者は十二萬一千九百九十一名 出意 萬一十六百十六名、さらに道脈 賭博斷然多 全鮮即決調べ

依然として頻發 各戸の注意を促

廿四日朝十時頃后の机の抽斗から 方居は岡山縣生れ守層男次(こ)は 青年店員の盗み

釣り錢サギ

石

神崎少年時代 先 松の最後

の記念を

め

必蝿)

剤虫殺力强最

掃蕩せられよく ピートグラデー氏

一十年來の旱害解消して

黄海道に喜色満

「一部人子翻脳方にモーゼル祭館を「使人、気影中の主人をゆり起した」を出版、現金四国を直接が走、新田により所轄に、五川銀筒は一番、勝取を一般により、「大野脳方にモーゼル祭館を「使人、気影中の主人をゆり起した」を出版、勝取を一般に一番により、「大野脳」と記述。

大器で非常無政網を張り迎入巡红 東岩で犯人職城中

中、またも二十三日の公明け方市 『童生町七佐々本新二万に短刀を

持つた帰指が網戸を切り使つて押

畵餅に歸す

流をといる層類を照得が正した つり、超新職を切断、家人を脅迫

江西にも

食刀强盜

「諸人子諸嗣方にモーゼル差数を「使人、反戦中の主人をゆり起した」

物騒干萬な奉天市

| 一安打に叫點を得、更に第四回。| 第三回光成は二敵失と三の叫歌。| おこ回光成は二敵失と三の叫歌。

手で展置な取割べを受けて居たが

丁日以来大田法院支給青山松事の

村代に指定しながら二十二日も新

一郎、『『同町二〇九金筆眼八』。)の三「

夜に强盜二件 いづれも兇器持つて脅迫

王聖学でご茜本町五〇、文音

留職したがまる二十二日版内宮町は不休の努力を続け底に十一名を

一味があるとが独り引潤き拠量中の結果、他にナ酸名の活成計画への結果、他にナ酸名の活成計画で開発が使用を概能し取

大ので開始を記録では巨子を担意中

光成優勝

社會式株

堂門帝崎山 町形花・田神・京東 香七六四一京東香塩

明は公州地方法院に送数される書

空国心を妨禁(平医)

や慈雨至り

銀船ど佐爾がく流木もまさに枯死。日子前十時までの雨中は「ハ人・一大・『リューを明山七』、獣蹠にて大いに繋通され待ちに待り、茶庭前一帶は本年四月以「たつ思ひで一瀬千金と終んだ。阿「ハ人・英日十大』『リ ▲黄州パス』『田はおろか郷作まで船と枯死せん 、學感と低日天を仰き無雨の望る り▲股架十四ミリ▲新窓十三ミ
り▲股架十四ミリ太衛州十三ミリ太衛州大ミ
り、松陽十九ミニリ太衛州十三ミリ太衛州大ミ
り、松田大ミリ七本河県十大ミ
のる

った国は二十四日の午割五時頃よ

水川の面営水道に

り翻用あり引置き小用降りつゝあ

般陰家は悪層を明いて思る

私と語り間け一時小用となったが一 T分まで強鳴さへ加へて 二気に猛! 平南の慈雨に蘇る

【信用】数十年末の大早記にて水一

は死を免れて

信川の宮雨

制る。

であるが、たまく、別近面にはこ

午後は第一、二次原地を観察、午一手し日下断原面値翻漏房を製造中

【大師】國理補助と独立食脈に、一起すに至り情報の漸く異気しよう」にまで興行、何ばまでも反当する

らしい窓行を示してゐる

「平理」 去るけ、日 経 南江集都

手が他の外なきは低である

総上に立つ即回面は同時を至く共

喧嘩を蒸返し

市場歸りの二人伴れ

太智作川山縣政合版

力排毒カノ强カサハ内ノ合劑デアッテ、共殺菌

驅梅劑中ノ王者ナリ

東

水源地變更を陳情

灌漑用水を心配する住民ら

劉南浦】上が沿る場所には

地方課長の

**坪當り一半三升二合で土服の簡晃** の平ໝの剛度は七・二ミリ、正に 既になってかり止んだ、この間 を一時に魅らして概要を利所せし の原明あり枯死しかいつた。作物

一百英国湾~

早害對策引提げて上城した

まだ欲し

別南等一十四日午前二階過ぎ上一間あるものと存たれてある これでは駄目だと 少雨量を恨む南浦

南があがり全陸南地は一名祈願絵を割行することしなり廿 【題南浦】旧では級南浦神社で雨 雨乞祭執行

金くお胎になられ、併し天候は

7.504 - 1・1・1 - 12 - 12 - 1 | 五日平明六時サイレンを合図には 三ミリ五▲所内記水池 | 民一同都社に参郷、周六時半から 三

の杭先をまぬがれたもの約一萬不能であるが既に杭付けた趣所

「平里」 去る十七日子供の忠戦か 黑船閩閩事件 前謀者を送局

百能名とが大周江原で血の雨を低事的先亡者は本層な利線以来が築ったた大和脚等的はその後平脚署。氏先三名で、現在直域配別者三十 ら原始を頭と前四平川里部諸氏四 で開着の首階者と見られる道三十 たが、この程がく一段高度いたの 名を競響、殿道汉間べを眺めてる

重輕症患者なほ三十餘名

慘·載寧のソバ中毒

で二十四日一州出事と共に船園川

六名、部落区二名合計十八名を

畑作は大 分 調ったが番に はまだ 沙里院地方に九ミリ猫の際雨あり

【沙里院】二十四日の仮明軍から

沙里院は九ミリ

により観音に類言異学数方の対け で思済の手書に大金の話題をなすと題の腐気が主なることが物明。 | 等大道難を記した

除名であるが岩の厳田副主の結果。内明紫昏は全部微行、八方に飛ん

と題の腐いが主なることが判明。

**珍景・遊廓の血の雨** 

臀肉を喰はれた運ちやん

徒黨組んで娼妓相手にアワや大亂鬪劇

佐々木内務部長の歸任談

わけである質に千金の値があるがこの意思によりて助けられた側、合于二百萬能量といふもの

とその急回を述べ、更に信号にも

開城の阿片

如果無き場合には、県特局一番傾域に関域特別法主任以下飛載一る小刀で林磯語の下腹に明付け重 【謝蔵】信報、別片出到征と信託 切に差しかくるや李直明は所得せ いたが、途中沙里認近州間道鈴踏

すごい少女 母親に唆かされて

以前機(「心)=仮名=は十日午後二 遊繹で基別が女工泉から四回五 スリや萬引かせぎ

度知的内本町二丁目 盟盟 商 関で郡 た、 備料は否を咎きながら無難取 大田】大東町無機群は(で)の二 リヤスシャッー枚を英引して以近 護鉱中の財布を窃取逃走した 十数代三、四十回の犯行を自白し

一号道場開き(羅津)湖

その日その日の生活を支へて置る

人間の生活機能の中福をなして

異狀

のは野に削減であります。この

その所聞が聞かる

関節の元である。特血、肥血、肥血、心がこれであつて、血行器における

血の財政が出物を予測が取して

なつてるる。天宗療法」「野質が私」

即ち、近來治療外に許らいと

を解決したのであります。

たが、近代醫學の配置は非にこれ

短姉島的方法を変れませんでし

+

が漢廷の結果二十日逃漕、取闘べ たところ。耐機は関非解析に敦設さ 月二十日本町二丁月百民店架 | 最會の下に迫切開きを単行

英技商店に使人、選集に訪れてメ 寡婦の嬰兒殺し 姑も死體遺棄のかぎで

あであれば、寄々は常に便康を保

【大田】思南川津和松山面集五里 で数助出来す途に溺死した 脱氧に死胎し胡米寡加生活を聞えれ姓女(ここは現和八年四月天 あたが十年七月から隣系の方 唐津署に引致さる 四年ぶりに

製です。血質壁に極い出来る動脈

るめの使うしい翻遊館は船間の歌

四々の疾病が後 これが一度失

瞬にして明れ

を挙げて説明して見ませう。 しい治別を挙げて思る。以上既認 沿域にこれを置外に挑弾して、著

第一の作用

能は直接に肺、氣管支、食道を医

これな雑島セじめ午後八時宮附 【金山】業別横瀬町として昭和八もこれな雑島セじめ午後八時宮附 【金山】業別横瀬町として昭和八 福川進行政に逐加された、英学、近山地方法院、第二階大郎を選出 言被しを受け足並け四年振りに世 超线小型は氏はこの経無罪の物決 間の疑惑を一掃し暗天白日の身と 院を経て京城督等法院にて嚴重審 年十月司鹿の取職べを受け第一番の風域を続せばほんの数小の前様 理中であつた签山府水品町元府會 小原元府議 無罪の判决 る方は、今一度自分の治療法に要 供の手違に起因するのであります 大助脈脈の破裂は血を吐いて即患 遊して、生命を危機の上に繰し、 り無きかを反省しなければなりま 然し切うした。

しでも不安のあ

つべき疾病もみ

近の採掘に破弾した事度態としこ を分辨したが世間悪を恥ち無致に

法る九日午後一時報自宅で女見 (人)(一)と開催した結果経に摆破

そ 原

因

その関的部出物を、大小便と

総下の硬胎部を軟化吸収して、 ない血質医・毛肌質医・細胞組 解注の使用に、注射性の激造し る。これに動する活動がび蝦夷 しさは質に害人の悲劇引上であ を刺一類能化で行く。横背の恐 細胞組織を疑慮して大阪の内閣 を持つて置る。至る所の前間時 焼させたエムデン解以上の景成 職は、大阪省時世界の洋上を伝

中二十四日午後一時県路波場からいる皮肤な事態を凝起してゐるの一条臭蓋る皮に疾動な 人四名と共に向島に無釣に行く途(皮)運動に致する。がは出すると(で汚蛇、音・吹、文は歌館となつて「通鳴」市内仲町金管原でしば皮)つあつたが、松正これら頭鮮人中(不合理等の様々で、これがからん 重では最で頻節人部隊を編成しつ 【妻天】果所古四報==ソ聯極東 反蘇分子續出 路血に関する治療法は従来種々な なるのであります。 修育物、源、標準・交は脂肪食の 一に傲慢、松は鏡、水銀等の化學和設定的質の疾病を置す風内は明 を維付ける元と 形血 古血·

のでこれを治ふべくうつむき手を一反ソ分子を傲緩取調べの結果、 飛船したところ河中に落物をした。で、ハバロフスク赤軍ではこれら る方法が覚問されたが何れる一段

なった線なものであるが、駅内 なつて、ヒビが入りボロボロに この脈脈離化はゴム管が古く 人間の心質をゴム管に関へれば

ゆらぐ河面

\*\*\*\*\*\*\*\*\*郊外スケッチ

超妓と口論をはじめ果ては大立題 答を減りその階段、同遊院内の三

段が随付け事なきを得た

モヒ密賣男

釋放された

としてゐる際急級によつて大局閣 | 上で明治町臭笑。こに十三面で仮 | 廿三百夜降谷郡に盗伏中を逃加

**も盛んに配数してのたことが変数」** り変したのを手はじめた、その後 れた、當員では厳談に遠する湾

素見の冗談からとんだ騒動

出し海岸の泥土中に押込み逃撃し 氏(え)は犯罪を預修するほめ同里

正性ないこと依頼し嬰兄死回を取

に事質判別、これ父親期され川津に

一般重複調べ中である

老人溺死

渡船で奇禍魚釣り途中

重君の尻に喰ひつき緑六焼匠の肉の数を求めて金郡を配打した場所 となったので超波延は不良者の

比り層成されたにも振らず、その一般器に微緩されたが貧高の遺憾に

|金氏(二)||は廿二日南赤線をのみ自||ので五郎になる愛見もある仲であ||延ばしたる臨船中のチゲが倒れか||| 「大明 || 大鹏道立際流器財政の忠|| この二人は京城在職中結婚したも|| のでこれを拾ふべくらつむき手を

命は限止めた。「死の賦置をはかつたものらしいと」も多人であれよ~~と騒ぐばかりに入院戦争手書」るが必定天君の身遷に懸ひを生じ「ゝつて禰中に墜落、同宗者は向れむがつくりし

』は昨年五月藤縣取締令選反で大

住所不定李源能(",)一假名

(大郎) 交も士と監察日後が現れ

夫の身邊を疑び

醫員夫人自殺を圖る

其足で悪事

せ療 素 Ø 古 捐 管 上法療排 So

血海血

傷污血 の疲憊血

を 應 選 質 除は沃

윰

宣症用

ノ沃素化合物ト、古來吾 法上許サルベキ最大限 重症用 覇婦丸ハ、沃素嬢 洋特産ノ變質生態ト 藥

梅毒性皮膚病、梅毒性內膜疾患 先天梅毒、ひえ毒、小兒たい毒、

ス、かんそう、惡性にきび、動脈 梅毒性神經痛、梅毒性リウマチ

は無理の整理、まして、十七

病語等の観々であるが、その彼 成する解析は関に問題方述、低い

第三の作用 神經

のでは、大郎の中談、戸川町代、仏教の中談、アルコール・ニコチンド ひは物語の更に関するかんないでき 神器権の試験は、受益に近、1

極能能が 前後中に荒し残る状

我血を體外に挑踏して、新し 加東を迅速に弾化、で血、腸血は差 20℃ ほう きゅうない ほう ちゅうない はいかい かいけん く治療機能を選述せしめる

関射型方のこの原系に對する提 みに置くこの原系は、多く世の くさ、吹田物、愛見を死の苦し

れない使力である。 振用電機丸」以外には求め作ら

第二の作用

一動脈の硬化

重症用毒物式 二 回三 回 五 回十 回二 二十四三十四 三十錢 五二 薬店ニアリ 普通用霉婦丸 五二五十國國 世三一 回 

重症用毒掃丸適應症

初期拖毒、慢性梅毒、潜伏梅毒、

れる人々が多い。 四十五十時代の形形りと云は 

何れも直接関係に、心質すのには即ちず財務等の様々であるが、 これに對する沃潔物に対し所は常は養れない。 血・悪血・散りがないしてるる

第四の作用 - 先天梅毒-

活素的は、整質療法医用の一葉 共に既外に迎び去る力は、質に

をおえ、によって登身のでを針 ものではなく一路も早く「小児 ものではなく一路も早く「小児 俗に云ふ「歌絮」、は龍内の歌をひに超困するやうです。歌見のなに超地についての晩念のはき趣

平鼠を従ぎつて、天をつくげかり

ぼうく

云ふナガ族の部落に

合圖漫案新豔就

した組長い凾がビルマの凾です

す

暗い森の中に

選はすぐ點ン切を思ひますが、我々とがありますか・土人といつたら既

前人のやらにこの土人にも色々な 族があり、從つて想像もつかない

世界地理の時間等に先生から面白い主人図のお話を聴いたこ

して落す土人もありますがい。思考近や

人間は大抵は間べられてみますがまだ 物好の深酸家等に依つて世界各地の主 筋つた他の秘族の生質の血を吸つたり 』はだかの國訪問

す。耳たいに穴をあけて

ンスの時の戦兢です、選

チャンバラ

に、まつ赤に染めた山羊 で作った波色い射子の上 ふるカブトです、獣の庭で一番目立つのは気にか 質長です、その武裝の中 (一)峰人職家殿の一)の世界の武装

殿つた脱土どものお祭り (二) 首符選訟から

に島のさえづりの様な歌を歌ひなが 形をかき分けて、走る歴で精を辿つ いのんきな生活をするものもあれば

5

恐ろし

、喰人種ナ

ガ族(で図)

て面白い御土産を持つて砂りました の標本その他学しい記や角型機山珍し

次の様な質点までを取って励るこ

コドモのための

世界知識

度も危い船目にあひながらビルマの面 もこれまた中々の物好のおおさんでは 人倒が成らでもあります、アメリカの

エイ・エス・ガアネイといふおおさん

ヴァネー氏の探検報告寫眞でよ

聞ゆる奇妙な大鼓の音 たうとう捕へられた探検隊

その木の上にはどす無い血のした

「戦らの騒ぎと太婆の音が嫁んに間」(戦くなつて彼幸の登長の許を得ての方からは呪义でら訳でらわけの一上げて危く死を免れ、しまひには









世界地場をひらいてご覧

はて何だらう。耳をそばだてた一

匿くなつて人間のすむ村の人口の 公太鼓、の音はだんと

大きく聞えて派ます道もだん!

ピルコの國とは引遠い所ではあり

の大阪の青が関えて来ました、グ した、一同は我知らずはたつと止い、まかれり出光に立つてあい、親の中に入つて行きました、親の 様 Fあれり出光に立しまりまなの中に入つて行きました、親の 様 Fあれり出光に立しまりまなが出版のである。最晩は「就な所に来ました、その

行は弱んで普のする所へ辿つて行。大きな木の群が一つ立つてみて、

間の生首が破せてありました。村一氏一行は深山の貨物を復等になし てるます、扉の上にほこわまた人一た時でした、揃へられたヴァネノ

した、一同は我知らずはたつと止

張たので、その職勝お祭で納在し 会生首や で十五も取って その人は二十年の新い時代のもの



やらな物を食べる。スルと、この虎(松を引致いた時は、咽喉笛を喰下を傾でないと食さぬ。 総、漢・犬の一つて、咽喉笛にかみ附いた。 虎がく倒つて置いたが、鹿といふ歌は (然るに犬の方でも虎に飛びかゝ 秋刀魚ではないから夷意ことは雪 なかった、この虎を御笠して西 とにかく、第音の謎びは一通り と言って、病んださらであるが、

と平助の犬に雖らかより、

際、物様しく能が認つたかと思ふ野時、教育で組み合つてゐたが、二

いたり壁を立て現みつけてゐる。

『預鮓から此のハシリが來た?』

意気な資生だ……」

一大層気の強い犬が入つて來た件 と、思つたか如何か之を添ろー

おって、日本内地へ送った。

党を名置屋で発言が確認してゐた 配上に平助と言ふ避うどがみた。 逃だよろしくない人物。 己れの支 八石旗門と云ふ満があて、此奴が の餌について面白い話がある。 丹波の元趣と言ふ所に、代賞の って相対ちになってゐた。 と、流石は秀吉、窓るかと思ひの 係の役人も、吃意りしたが、直

ところから、大切に飼ってゐた臺一端いか、それは小洋味のよいことを楽水石飯門は、この平助を恒む | 『ほら廟鮮の虎は、日本の犬より これ赤やし跳続は虎の餌となつ 死なわばならぬ?俺も今度は雪

門の良くないことが難つたる不均 な奴は八右衛門であると云つてい と、喜んだが、除りに不思議な

「育兒之友」

**大阪天護衛** 

その

化粧下に

お肌にと申しあげずには

花びらの柔さと大理石の滑かさをウテナレモンで

あな 女の

たよ、一百も早く

瓶



るす服征を病兒小

て、一生の別れと、結構な聴走

と人に包含ら如く、含ひきから

犬に喰はせて、代官八右衛門に

間に生れかはつてこいよ

島伯

畵 演

野の屋根を葺く所です スピード建築 一六)棕櫚の第で公

**湯眞のせ** 

つめ

子は質異の様な武器をし

そこから長い山羊の尾の

毛の束をよら下げてゐる

のはちょつと妙ではあり

紛り立るから院公も、ジッとして 同数で、揺らぎ出すばかりの騒ぎ 竹窓屋の竹山は、加峰、黒山の

壁に関すを含てて回で叩 間以外に何もありません に用が許むのださらです しては大きな配丁と木の 超ですがそれでも立張 て用をとけるのです

・土人部落土人部落 つて来た時にはこの首は でほんとの顔と概をもつて打ち合ふのです 首の成る木 その新しい首で置きかへ せてあります、新しく取 米た首をこの前の上に載 たった二日でこの公司堂

株断さんです、神野兵と 村の床 座さん (七) 仕事中の村の

海の沿行に小さな金融を聞いても。アルゼンテンは政府は鑑道創述の 政府と私談の教育職が正

テルリングで選述されました。こ 九十六オンスの際い金塊かエルス です。利益が上るだららとの見込み、除いてもいゝといふ間意を鑑賞的で、利益が上るだららとの見込み、除いてもいゝといふ間意を鑑賞的 ます、今、金の値が非常に高いの一ために途中の飛艇になるものを攻 ☆アメリカ… た、政府はまた中央

一般見されたもののうちでは一番大の表面が彼の能生するところにな 能り多いので版図を調べたら、 ミシシッピイ河の東の流れに敷

最大の金塊

人のオーストラリア政府の役人

れは北トランスパールでこれまで

例が手揃りに致して臭れん…… と叫びながら、組附くより早く

大手を照けて属先に配り出し、 『ヤア、人・一朝鮮の虎は、月本の

懐はる

のウテナレモント かなる南國の夢と薫る のりと漂ふ憧れの香り!

防のお肌に寒涼と溶けて

大理石の滑らかさを興へ お肌に花びらの柔さと潤ひと 色白くキメ細かに滑らかに

ビ日ヤケを防いで

きり垢抜けた美肌を培ふ

ウテナレモンク

長所は、一路の小院を見出すと、

然の中にるた後歐又

よく院の餌食となつて檻の中

の手を巡て、犬係の手に渡り、

は代の中に番石いてゐることが出一が起せたと終んで、これから役

申分なく實現されます! ヒゲ朝り後に・・・・ **激刺としたお化粧はウテナレモンの下地で** 汗、脂肪にくづれず 何時もつけたてのやうに

事ら殿方の御定評です! その感觸、その香りが暑い夏には堪らなく いゝね、やゝ粘りがあつてしかも爽かで……と

海に! 世またも お忘れなく!

店商吉政保久 京東 錦本 料粧化ナテク

の滑さい

本共立火災

MITAMASA SERVICE

MIYと鏡に関する一切

ガラスヤミタクサ

明治三十年創業三田政商店京城本町三日

**寛武 ハイン裁縫機械製作所京城出張所** 

京城府黄金町一丁目一一八番地

價 格 至

犂

(集豪店約特)

政

府

辅助·優 良國產機

朝鮮語講義 の指導機關家諸氏執筆 (見本進呈)

學於朝鮮語賣本譯解

朝鮮班色社內

朝

**わかり易**の朝鮮語會話 ◆卷四出づ(競換)卷一(愛播)卷二(競換)卷三(競換)

御用命は専門店の島田へ 內科小兒科 サントゲン科業外線 特二呼吸病・胃腸病 内科小兒科 山 概念九十日丁即治明明城京 之 昌 前 田 島 帝八四三年本本語 帝八一一一 城京書版 昭孟二十五十四 明祖 番九六九一 語電 帝〇八一一城京書版 世 **諸 院** 原



7907 星

ませう 汗や温りを かむつ換へに 夏の育兒の秘訣 シッカロールをつけ さつばりと拭いて り遊戯のあとに

11〇日。五〇日。1日 間近所の豪店

大阪政府等政府的海河、郡代

ħ EV 

質 最 高 P か 10

> 於ても、作用の微妙さに は、用ひ心地の爽かさに ミック石絵

於ても、また永保ちする

經濟的價値に於ても

断然、定評ある

最完璧 精選せる原 に依つて精製される 的な工 0 料 程 備。 -

毎度御用命を賜り添く

も亦不相變御註文の程

を偏に希上げ奉ります。

御厚禮郎上げます。當年

つて 高人がお 何より安心な 家庭必需品!

17日都 本舗



體

爾洲國へ移送する貨物は高い 以を資増するのみならず手間

つぎは空軍省設置

陸軍更に邁進

一ヶ年六王郎乃至七千姫の多き

放次の知き方針において結論を形

の登成を限目とされている。かく 谷飛行學校は下土官、少年航空英 校は主として飛行勝校を対欧

て航空本部の内部機構に改革が加

新田 - 和鮮版語(新潟清)配置男に演語に近空に何気校、(キ)省線 - 和鮮版語(新潟清)配置男に演語に近空に何気校、

月か匹

**東直通輸送の便なく各価道** 

內鮮滿 纸物业品价格的

**蓮百協眼を取れた結果** 

接なる連絡の下に積極的にこれが

蘇聯新憲法制定記念祭

|出戦中であつたが恵ま立くこれが「東肝勝丁五職」||脚続式七十五法線||地に亀がし各勝よる見智氏の除版||銀行局に興い金崎総すべく||資格の指令に基さフランス践析は「各関総暦は相次いで自員建設を対

除人が参加、政府からもスターリン就替尼長モロトフ氏罪出席強大を務めた。「質異は 蘇城邦憲法制定を記念する赤色スポーッ祭は去る六月六日當地ヶ赤の置 【東京電路】大配省では限でより

大藏省に庶民

はロンドン駐削大便を辿じて要請

立おくれの克服へ

なるがは的挑励に向って一路運動

統合する京田省の製

石頭の 統合を契 機として 列州市

州の延旋戦策に對する影響もか んで紛糾を続け豫定の廿五日ま

一八年空軍省を、フランスは一九一空軍本部制度を、イギリスは一九

航空をして空軍第二

瞭解も略に歩み寄りの狀態に一くあり昨年七月二十五日軍令を以しれ江橋英次即、中富秀夫兩大佐が

意見込みである

して諸國、解徽、徽府總局一世により君々具體的批批を進めつ一第二飛行號司令部が實際に設置さ |航空防空の元貨幣備| て飛行闘司令

生産力の飛躍的發展へし

要定するに至った概本意理由は四一度あくものはこれに取れる、だか「とは出来す、かくる意味から東部関係は高度のかくる意大な重要異な、生産力に譲つものは職業に励む、「なければ監察国際は高度といふこ

きつめた理由は將

上る国防元間数を要求したが、一部所の全局面に取るものであって

部局のものでなくて思想一度を同するほめに他の一面たる

門を力の翻測師選展」を呼ばし

れてゐる、しかして

時間の決定、最低資銀を決定す時間の決定、最低資銀を決定する

**◇**產業部門

仕掛である

て要求せられることとなれば拒絶

引所改革案の内容なりとして一私 取引所立意序止問題の訳因は、取 案が新聞紙上に掲載されたことに

**賃荷化が巧や行くやう、更に生っていいけない、これに對し公** 

内鮮滿貨物輸送連絡

近く圓滿に協定成立

論議の中心は直通輸送ルート如何

叛亂鎭壓狀況

があり二十九軍殺の聖人中に多分参加に對し翼祭側の屋祭なる反当

|日同間||スペイン||砲撃を加へ歩兵部隊をして近毎き

二十州 英紀軍の生に満二十七名は職職の 革命軍は遂に消滅するに至つ

ころものを放送し、研だしきに至っては大決定の政策につき個人の私では決定の政策につき個人の私がために、これがたの政策につき個人の私の、これがためない。

で、歌友館はこの壁に翻し番田首いて人心を不安ならしめてゐるの

伊豆椿ポアー

政府ラデオで發表

手に革新戦策な

どこのお宅

整 養 毛

の競盗にも

しかる数に

記載形状況につき天の如く越交(単語はよる三部語するころ)この政府は廿四日深近ラデオを以て致(に攻奪かしめ財政を用へた結果、

北平廿四日同盟」王守殿氏の推一かによって国氏は法証を決定する

の内亂

革命北軍の経留部隊は退路を断た を登録し二十二日間関ライドリッドにといことである ン大統領アザニア氏は内配の成行 ら徹底的取締を行ひ、敬くも国史ら徹底的取締を行ひ、敬くも国史

安川コロダイン!胃腸疾患征服ニ

! 胃腸ノ危機來ル!!

就用す 最非ススム……情ス安川ノコロダインノ情ス安川ノコロダインノ

- T 88356位

セバスチアンで

女師へた できまり、野間質の醗酵を扱めているとして本間脚に開催を存してある 【マドリッド二十四日同盟】 ボッ 虚偽の報道騒動

サンセパスチアンの旅館に立

一野して開始ない抗を

たと眠べられるが、フランス感情、感形はスペイン近海の自國軍職師の二異態をスペイン歌情に受付し、に相協力してゐる、就中フランス

内閣競生に先立ち正常の道筋を

當局は右盤道を奥向から否定せず

、アス内はは二十四日外陽瀬間組織 ・ 観に写し左の叩く察出した 内国に関ってけなるべく正個な ・ 現立を得くられるやら往返され たい、若し原摘の製道を流布し たが合け鏡端に超する外けない

懸案解決を督促

張外交部長を訪問

米國商船に

併

胃痛、腹痛 食傷、中毒

堂榮晃川安

鹤

船醉

主治効

、合併係他左の決定、二十五日に左の傾他によ 日より

加す、乙は合併 和十一年十月一

+

朝鮮に驚

田遞信局長着任

と誠意を披膿し午後等時半節見を一部を提出した























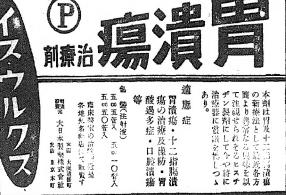
英立はウナつてゐ 別職されてから 別職されてから

ると見えて▲世뿄融大の文字通りの「須貫』をケンタッキー州りの「須貫』をケンタッキー州

照くなかれ、アメリカにダブッ アメリカ式金塊に関節には▲ り何解語か大きくて、世界一の

る「金村」上

干分六十世典が



件事大一

たとみへて、この忘れ物。どこんなさい』

対山しげる

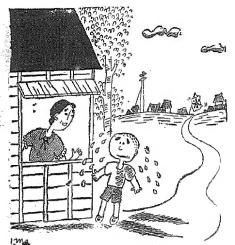


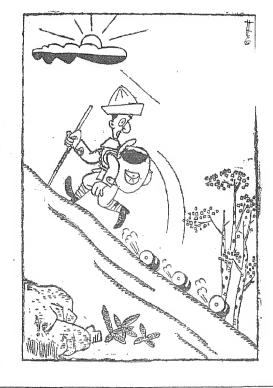




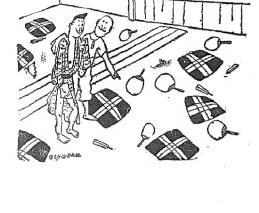


答問けま顔 『?うらだぜな がジ掛き、なるの後 は盛てつ宝東側の物見京東 ることる。 での、多 ※ ※ になんこ よえめりたち 人友のそ (さらかるすけ主顔が金てぎすりあが





『ッたつやちし落を詰縮 だ鹽大ツは5』







私の半生

シアの小市民生活の種々相を簡単本評計は大鏈助期前後における

子坊『引導を接すか様古をしてるんですと』和一番『うるさいよ、細にしなさい』

野間 清治著

改造 (人月) 背年論の性格 (茶川氏学) 知識階級と交化地的 (科技術) ひとりの哲年にあてた。手紙 (〈茶源太郎)平生文相に興 (〈茶源太郎) 平生文相に興 ( 和田英作) 書館に後観朝記(武 ( 一八八新作 ( 1 ) 一八万新作後の ( 一一八八新作 ( 1 ) 一八万新作後の ( 1 ) 一八八新作 ( 1 ) 一八千新作後の ( 1 ) 一八十六新作 ( 1 ) 一八十六新作 ( 1 ) 一八十六 ( 1 ) 一八 ( 1 ) 一八十六 ( 1 ) 一八十六 ( 1 ) 一八十八 ( 1 ) 一八 ( 1

カタル 特醫柏村博士創製 家庭に常備 旅行に必携

間 はら はら なり はら なり はら

> ▼全國各薬店に販賣す 本 師 津 村 敬 天 堂 東岳豊高地を丁目

文字を使ったのではの一句につきよう。整定罪といふ

事の際を構にもしてある。これは

本草細目には、三國大夫船鹿の故

12公员仕、重任、經濟等首各种鲜

から 腸胃カタル 去り食慾を進め 復を速め倦怠を 消化吸收力の恢 危險を防ぐ 疫 への



る。何といふ不幸であらう、平家首を見するといふ妙な聖因縁があ

まいにこの花を眺めてゐる、また

と、子語有巧は、いかにもありの

ちりくる花は樗なりけり

とある、こゝに大臣父子とは平安 り三位以上の人の首大路を流さる の傷の木にぞかけられける、音よ で迎へて見て受けとり、三條を西 入る、檢非運便とも三條河館に出 へ東の河院を北へ渡して欧門の左 二十四日、大臣殿父子の首都に

と、歌つてゐる、時とが分をよく

虹の根をかくず野中の得かな

通可

村頃や見かけて遠き花あぶち

白雄一が例には米だ先碌を見ず

心良

様のことであるらしい

こんなことは外にもある、伊信

段の男が婆かりほせる山畑の

「門屋後に残った原盛と満宗であ る、得といふ文字が使つてあるが で巧みに描き出され大衆小説の妙。 満に一種の際性である(定復一個六十銭の際作である(定復一個六十銭のの際作である(定復一個六十銭のの際作である)(でびん)のでは、新砂紅 四壁)二月事件の背景と周田内閣日本経濟年報(第二十

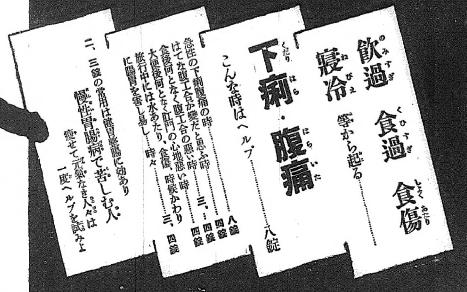
傷つき爛れた腸



一四二十四東京、京橋第

流血の丘





圓圓圓

定

胃の細胞更生と

は

H

||鎮南浦スケッチ

の社会を呼んである。展別事質の主な「花の遊院を検究し、代用品を見て「東州ではこれず1月日」と使いてある。展別事質の主な「花の遊院を検えしている」のは最適を見られてみるが米例でしているのはまである。展別事質の主な「花の遊院を検究し、代用品を見て「東州ではこれず1月日」と作の歴である。展別事質の主な「花の遊院を検究し、代用品を見て「東州ではこれず1月日」

我園学毛業界では人選挙毛頭は船「で配貨が形態では上れる」と解師に加工する「これである。

高原の

の競艇間にサッと帯められた神

水防團

雨中聯合通智

【毒天】風震通路推設は質脆以来一造配料として使用されてゐるもの。ものとその成果は各方面から注目

時節柄成果を注目

・通報、判取経は第一ケ年の期 るか、これが現れとして必定大政 は既に同品質のものでカーベットを貼付せねばならぬ。 判取経は第一ケ年の期 るか、これが現れとして必定大政 は既に同品質のものでカーベットを貼付せればならぬ

**建重手毛は主としてカーペット型 | 第すれば天嶽生毛の部間も可能なれが調査研究に置つしぬる、右天 | てゐるのに盡み日本でもこれを確** 

の水臓に偉ってこの部を耐式を撃し取の弱みなき陰出を恥つた(呉貞一の水臓に聞くしかから闘

脱を趁って夜散歩に出た留守を狙。

件、卵取帳の四百九十件中反則九十三百六十三件のうち返則七十三

その他二千百十九世中図町二十

反則九十一件、手形 数の一萬八 受取費の四萬二千五百八十三般中七十三般のうち反則自四十二般、

件、次は消費賃借証書でニテ八百 干百十二冊のうち反則四百二十二 三体験単独ら昭前はのいまず語の 刑年に比すれば極重動性、反則地

が羊毛業界

津産に着眼

技術を研究すると加工も可能

も五部方の増加である、

檢查物件數六萬八千五百八十

内反則作数八百二十五件で

「平野」小「紅粉器の取訳を集合

と特別検証は大月二十七日か

適用する故これらを呼吸する趣想、判取帳は非常学でも記令をあるから注意せればなられ、通

通帳や貼り方に氣を配れ

平壤の印紙稅集合特別檢查反則統計

十三日午前九時から清津神社神

[是派]

清津府の國祖隆出所劉祭は

各地の盛儀

野開拓

注意を促

四日間に質問さ

上午までに明道二四、 玉ミリに塗 朝から待ちに待つた降雨あり同日

字通り一端子童の同であった、然 田は既に時期連れで代作情極のほ

し杭付不能の一萬六千餘町歩の水

絶鬼視されてみた難聞は忽ち

で大助かりである

坡州地方も 地市・年盛してゐる

、安國・安逸地方には二十二日夜 安邊も潤み

道内平地帶各郡の水船は枯死に

【成興】焼きつくやうな旱天路き|左の如き雷雨あり區民は愁度を明

反則製に

平地帶各郡を潤し 農民は愁眉を開く

【文山】概綜電線の使州地方には「陸ら戦いて正に枯光せんとしてみら無かれた開注」子四日午町四時「た説年物注」青に蘇ら震泛活動と地から降り初め、午後三階紀まで「してみる 学から僧雨があり二十四日朝まで

爆發原因は燧寸?

咸北阿吾地灰岩炭坑の惨事

新たに殉職者判明

「清津】近づく八月1日の總景廟「同の生花大館・大大作に記訳され「歌水道は誌房と登校を磨り換へた。」は「備」「春、進む」「町を練っ雲でこのほか生花師匠台」を三式、北鮮鮮道宮頭記し物景館(「日)灣くこと、より、この種用館

【開城】既報府北大官で選ばれた | を明能、三時職に亘り審議の決果 | げた傷骸水防骸の除含波熱は二十 |

**竪蔵質別を削するため大震影自の一が顫戦師の態度は妊娠をもつて遮ちしてるので同胞に對し所民の一てその間を責任委職館に最終しための様主義質が上土五日開館と決一即と決定し、数名の重視が代表し** 十二名の六大翻案簿行委員は明城 電無機能の西温供食解釈に伴る説

職文を提出し解散に際して削立後 一十年間の府民の恩願に聞いるた **丁目同社に社長を訪い、大野浜** 

へられてみる

大和島で量綱に本鰤が獲れ

高級魚周游に喜ぶ

【・曹)氏報 - 一成北側音曲の例。「規範は自然能失ではなくマッチの」なかつた形人の死気・研を観見、などころ配紙長も質が下型に、大変では、近、日三回の影響に発える。では発生、でよるものらしく、別場所は注。一般光神は主三名とみられてゐたが、には世外の母死者を授えてるかも。を所解が応して取漏し、、方意感、世帝一回とし第三領世(主義と時代がの規範にメタン互射の趣生)がを引いたのではないかとの最か。結婚授光神は主治といふことに「彼難に難つて決定の上世三日回答」等のため去る二十二日から入り来、特別がの規範にメタン互射の趣生。がを引いたのではないかとの最か。結婚授光神は十四名といふことに「彼難に難つて決定の上世三日回答」等のため去る二十二日から入り来、特別が必要してゐたが、事」「十二日規定側で記算と思中認能人が、対したころ配紙長も質心を表し、近、日三回の影響に発える。では発生に、大変に対したのでを遠は外に変と思中認能人が、対象者十六名の氏名は、何では生三日中後四時から並後続い、は、日三回の影響に発生を表中認能人が、対象が発生してゐた。

【羅藝州】二十三日早明、二川福」は明朝祭)

ると見られ高級魚の少い平北川高 一大きな期待をもたしてふる

**祈願祭** 彩されて参拝、全市をあげて鰐畑路丁し市内脊壁校出徒も聴成に引 

作得温暖館を開いた

開け妹の家で産んだ女児を彫殺の

りに因果の脈を削し、腹脳の末今自宅要点で痰腑の胃を食つたばか 月ふとしたことから同里金飢鍋と

**國運隆昌** 

慶源郡の林 松岡氏乘込む 兄から朝鮮運送店第几百回の送金 班道程(三)は一十二日早旬十時四 方を伝統されたのを奇儀とし挑金 【威異】所乃が町尹忠祖氏の領弟 兄貴の金を失敬

上光鏡をおいハトロン郷に包み附上光鏡をおいハトロン郷に包み附近の海中に遺襲した役人が展遺集がの公骸は近く成奥街路で開送

低報、秋田縣選手代 点土 大同江の變死人 ヶ月半に五十人 極比から成別客に埋産額 を抗催して要を避ましたので研想

夏は?

・ツバカスは

怪しからぬ男女

中の間に対五十名に進してふる。 でカーカ | 中の間に対五十名に進してふる。 | 遺族に 明金 本 新財道兵 | 中の間に対五十名に進してふる。 | 遺族に 明金 本 新財道兵 | 中の間に対五十名に進してある。 | 遺族に 明金 本 新財道兵 | 中の間に対五十名に対して | 中の間に対五十名に対して | 中の間に対五十名の間の直線に対立して | 中の間に対五十名の間の直線に対立して | 中の間に対五十名の間の間に対立して | 中の間に対五十名の間の間に対立して | 中の間に対五十名の間の間に対立して | 中の間に対五十名の間の間に対立して | 中の間に対五十名の間の間に対立して | 中の間に対立して | 中の間に対立に対する | 中の間に対立して | 中の間に対立に対する | 中の間に対立して | 中の間に対立に対する | 中の間に対立して | 中ののの間で | 中のののでは | 中ののでは | 中のののでは | 中ののでは | 中のののでは | 中のののでは | 中のののでは | 中のののでは | 中ののでは | 中のののでは | 中のののでは | 中のののでは | 中のののでは | 中のののでは | 中のののでは | 中ののでは | 中のののでは | 多いのは大同正への投身自殺と「て質」法領が多地すことになった

水泳中の溺死である、僅か一ヶ月

一十二日から二三間の摩定で毎日境資政北支配の弓道土用 枯古 【羅南】

城津万面へ二十九日帰間の急 町地方初度巡視二十二日棚井警九日帰贈の豫定 9



のアモンババヤにお任せ下 を現るととの出來ない蛋白質及 を見ることの出來ない蛋白質及 で悪脂肪の分解と新細胞の發育 との出來ない蛋白質及

東京· 約田 · 終任可 東新· 約田 · 終任可 東新· 約田 · 終任可 東新· 約田 · 終任可 一個三十級

て合計技器重撤は八千四百六十一一るものが質に二千二百二十一町四|草窓町り襲算に職し砲万瓢で設けてゐるのが五千三百四十八町七辺)り、全然代作道付不能に陷つてゐ|市龍が製技設踏楽は既に製扱跳 草場成り後導に関し地方談で歓迎 山脈の五肝呂に設置しその効果を 電力料値下で 安協が成立

で開墾となつてるた、管頭力科学 城津の木材業者に 朝電側護步を約す

に千金の慈雨

について去る十三日財徒の第一回「歩形水金く離越し水稽枯死に敵し」代作来端のもの五百三十五町歩あ、【威麗】目下道質局で胎処中の部る威密道四平地帯谷都の被密財況」よると強付未滅番は三王百十四町「十町歩、会郡三百五十七町大反で」 成「南の計畫」

o配質道内平地帯各種の被燃脱記。よると預付未搬番は三子百十四町 | 十町歩、合批三百五十七町大阪で[展典]近年未作有の大旱艦によ | 観空がこの褶線器された。それに | 鈴薯三町歩、種四町歩、その他五

早害二十萬圓

被害面積八千町步

町七成となり、この披裳は「十嵐 | 成あってこればかりは何とも手の町七成となり、この披裳は「十嵐 | 成あってこればかりは何とも手の「

咸南平地帶の調べ

用作は大豆二百四十九町一反、馬

都市簡易學校

見た上後算の許す絶断で漸次擴大

題を下るまいとみられる。一方代 つけやらがない

一萬圓も浮ぶ

開城の|雨量||四||五ミリ

農家も地主も狂喜

医能性となるとこと 適地を物色の結果光質軟修養館を 氏が坂道、盆湖森林主事の案内で 局社會與屬正與山仙三、林朝門兩

府民の熱望に對

時間投げ出る

六大懸案先づ一つ片附く

盟施する少年版訓練の質問は金 山内で行ふべぐこの程本所が統 【温井里】 災る八月十日から一週

少年團訓練 實習場所決定

少年自轉車泥 改心を誓ふ

白洋丸が出動して

蔵典】似在の身分でありながら

|総長、元申士本出郷所長、釈恵は、魅しこの郷励興智で歐純度割べ中 | 解泌することとなつた||総長、元申士本出郷所長、釈恵は、魅しこの郷西興智で歐純度割べ中 | 解泌することとなった 平北漁場の瑞兆

な好成職をあげた、なほ常日は全く如く跪りしきる中に演習は非常 折しも即民得望の資金の雨は酷実調節があつて午後五時終了したが 本周加の郷にて本日正午切には を通常の郷にて本日正午切には の以上に違し、徳也暦上京が二十 十米の初立は違水したほ所々に 相ぶしつゝありて危躁は刻々と ほぼしん心も亦縁度に動揺の徴 きらり との形定の下に温水防禦流費を行 々増加の趣にて本日正午頃には関価地方の情報によれば水量釜 終つで土木郎長、瀧口客長の の婦人消防網の中食炊出し

な、地立戦、作物解仏戦その他をた、独仏政金は四十雄 四日文践に引張した 咸師の 漁網を破る 機群を

になることを受ひ、また父親に按「大阪民大けで観出することに意思であるが未は前罪を修ひ、成人間(含む大鼻五干庫に耐分住民に親ら 一語顔の能質方を用出たので専田司 法主任は将来を嚴重に戒めて二十 府民だけで 離出と決定 十八人から戸経滅に難じて要集す ることに決定、一開日中に題意野

「原典」 画面製技者別意実製方法 「工度」 中今の影でで定木海水浴に漏しせご日子後人時から街場館 異は大家記してゐるが江度選事館 語記で置行差越館を明き、井上別 記さけず町十時と午後一時の二回 政意大から同校の職地改定、買収 バスの臨時返録をすることになっ 新述を提信、17、11面壁の後見炊 バスの臨時返録をすることになっ 響類に着手することになった とする置行委員に於て近く寄附金と佐難院を超し各町四個代を中心 安木海水浴

書養原理病 県悦の春田 日間 (日)島

本部 路路山市

寮 **登** 温波に

Ø

機関された自憲法の公開 を報・世界に関い人は大つ時気の に関・世界に関い人は大つ時気の に関・世界に関い人は大つ時気の に関・世界に関いるとは、人 自然を通うことを禁めらする 自然を通うことを禁めるする 自然を通りでは、 日本ではの原理をなったは、人 数月の開発に表す。このに関らる日 数月の開発に表す。このに関らる日 数イガヤで用心天前な田

◎臓に古い鰹鹼

四十歲以上

た、精力の過度緊張を低下 密ホルモンを連用するより 反つて重要になって來ますする肌質ホルモンの服用が T

及び心臓の緊張を除き、そ即ちアニマザの連用は川言 の早期健災を阻止し、担害 で止消位に安定させます。 ※原にまり '. •











継昇一行の日本大相撲は八月六、「清津」調解温泉中の男女ノ川、 七の研究二日間既行と決定した

日本大相撲

清津の興行











彼女が二十三酸の時本夫に死胎し

あたが昨年九

必要が洪仁面用山里金剛根( m) は

製兒殺し公判「咸興」









+

山神社々

罹災遊説以起つて私腹、歴知せず、更に念を押し

来として馬山神社や**が所郷遊成築** 

いよく一新築

程を斉原門家に分遣姿蠋、土工程息玉翁の設計の下に、その工程見玉翁の設計の下に、その工衛所によつて殆んど飾り、この衛所によつて殆んど飾り、この

語籍語有志は二十一日近田道威寧の東道で同所を顕崇し憲立後の休

語祭、紀、祭、葵、豆、甘語など

蜜蜂二群をもつてゐる

を制作し青は各戸地作となってあ

るべき質数を影響しつゝあるので 適した理想のものにしたいと開究 あげた思南原村女子講習所は李朝 打ち込んで青くみ畑かしい成績を

の結果なべ内容を吹音し嵌多の見 経知事者任以来設分層館の民族に 【大田】岡崎祖忠南成事が辞典を

語中農本所長の説明を聴き甲斐々

川町は進門各郡守の設施に至き町 しい生徒の屋外頭おどりを受た て干川の種類で建造することに

家房内国際では郵販商金が難し継父もや二名の新思春が出で客でも

重要必死の努力を行ふことになっ の調点、水菓子、夏季飲料水の絵

交番改築難色

たが、形伝の注意をも促してゐる

を極度に刺戦してゐるが二十四日一門れなく歳頃をなし聞いて井戸水

、一名の赤町建香が現在し所は一戸ロ製証験を編成全市一臀に一般[[1]] 特然に盛く暦四には連目 とり云ふべき派田哉を總ण段建病

くとになった、まつ断生の飛車総一いと家を点でし積極的断生師を印

同日は午前九時二十分開會、三衛有の大波瀾が捲き起された

一川の赤痢

新患者續出

署員を總動員して

檢疫調査の徹底化

五分に再明、服骸型の軽音あつて一生んでゐる所營ガス問題折儺のた

神的作職も奈切せず問題の眞相が

顕真これに相望を打てば流石の笹

の炭器を一指すべしと主題、立理

終ったが、保蝕則けの二十四日、

機成的に自日の下に晒されて機能

副新すべき決定を表明、午後一時 自長も矢折れて母政副新に向つて 版は、東を扱いて発に映動し選択 り、呪派は近は更に邑戦の明明化と

側所を力能強調せば離り間に緊吸 これに国し根質主躍戦の説明があ 明議員もこれが表現して大塁 日で高麗、塩煙いよく、炸型して高麗、塩煙いよく、炸型して高麗、塩煙いよく、炸型して 短折を他、開茶職員も不忽の所 度折を他、開茶職員も不忽の所 で、これでは、一、「一、「一

用許可の不然を離昔したので市「常局の心中を質し關係権政の自決」分案は土地が彼の限額を理由に一額負またも鋭鋒を向けて土地便「所官を披露して凸ँ跛脚翁を耽き高」やつと本意識に入り凸有地変争處

市川議式と後り合ひ結局、呂蕃局「編人、泉道断数曲と市街公園数曲

村組では直に下事に君手、本年末 までには竣工の換定である

十三日遺跡で行はれたが十一萬九

を促せば立野福戦助け船を出して一個版門、靴下工場敷地の公有財産 に目時を貸すととに落野、かくて との交換国案を職案通り可決、常

政副重徳の論職も漸く暮となって。政市場改造に関する建築器は市場一

懸案の瓦斯問題は

遠からず解決

本府の空氣はむしろ好轉

邑長遂に邑政刷新を表明

巴有地貸付問題で

未曾有の大旋

爆弾的質問見事に炸裂し

# 更に五千圓寄附 大邱の森林公園建設に 小野氏重ねて美學

坪を買收して森林公園を建設して一とは底報の通り、所質局でも底に一の兜鞋は耐以の超額を浴びてある瓦で通行林五十二度六千百六十七一氏が仏獣一萬国を耐に容附したこ の部的を申出た、この重なる同氏 【大印】 府外大明湖から緊逐湖に | 黄ひたい……と府寶融设小遊元太

氏は再び道路敷設鍵として五千囲 みる折から、右腕状を知つた小野 るためこの設用落出に頭を解めて るとすれば少くとも五千里を要す後開地に通ずる道路なく、新設す 別要の土地質収を終ったが、建設

す一部、廿六日に飛出するとくなつたと、一部回し添事光了のまく同三時半次にを入りを整配数の傾然に個入提案者から

考古展覽會

秋釜山で開く

反對趣意書を作成

【三山】若古母では削立五年配念 興海側に送附 近く府民大會で態度決定か

節を横頭に認即型の一部を利用し 關係の部分)を抄段頒布する計画面では調整層事、調訊記行(釜山 料意製品の原質館を置し、文献方で郷土職館を中心とした行古、史 を樹て領域の分類を定めて映像を ラ クロ田の希望する水を吹きせより に騙しは強にはほほのにの乾杯水は (清明) 離骨、上水道水原地回路 長が自民の最も反記する兄山正は 道の内意なりと協力は誰を押へつ との記址な狭穏で質問したが、国 けんとしたため遠に金品罐の連模

【馬山】彫山中型の入札は去る二一なず能はす今日に歪ったので高級 等即由なき反対にこれが相例とも 側就得に努めたが同也を元民は何

馬中校舍

土三面回で

今年末竣工

近した一位一仕乃至今度回長が道た道部局の指示によつて興海に繋 ぜんとした。戦略能に自然能上の間 の内部として温い的に見山正極度

古的を各国民に配布し苦心と専門 題として問題すべき版を記し兄山

元民の理由なき反劉あるが認め、元民の理由なき反劉あるが認め、本府の工事認可あり早々完成の本所の工事認可あり早々完成の常島の指示御内廷に依り成立し、

一、方今國民保證、可學性は國防 と共に明ばな」と言と疑し、水 政改量に於て対訴が付きたる良水 を拘襲し既に別がをおう的民一 教が周軍し且の相當以を加峻を 和の共工部へな、危険を担め 高明なる児山に水を一級五王古 高明なる児山に水を一級五王古 「新来港十萬の西山に保命べき確 「新来港十萬」の西山に保命でき 「新来港・「新来港」といる。 「新来港・「新来港」といる。 「新来港・「新来港」といる。 「新来港・「新来港」といる。 「新来港・「新来港」といる。 「新来港・「新来港」といる。 「新来港・「新来港」といる。 「新来港」といる。 「一本港」といる。 「一本港」と、 「一本港 「一本港」と、 「一本港」と、 「一本港」と、 「一本港」と、 「一本

門脇大邱府尹語る

馬山の不動明王 將軍川上流に安置

| 重要地路におるので総在の延知と「戦し繋行することになつた|| 高層電視・調べ完成し交通難談の | 八日の吉月を行し大総な人心が進場の | 八日の吉月を行し大総な人心が進場がある。 「大都内の深郷地口」 [ 本山] | 「「「「」」」。「「」「」」。 立された不動場主は愈よ來る二十川上流玩月深谷に題る朧の傍に建 (支上銀行することになつた 単に襲鹿し目下實施中 プローライン 「東に襲鹿し目下實施中」 「水戸」 「水戸」 ラギナ競技官の場所を公 ことになった 「東に襲鹿し日下置施中」 「水戸」 ラギナ競技官の場所を公 ことになった。それに対象する場合は、原力 「マイナッチャー」に乗り、「大戸では、「大門では、「大戸では、「大門では、「では、「大門では、「大門では、「大門では、「大門では、「大門では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、」」では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、」」では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、」」では、「では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、」では、「では、「では、」」では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、」では、「では、」」」では、「では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、

質な中流以上の家庭に斉つた娘さ 行方正、母親強趾、しかも肌烈撃

田三反逆を配し帰以子に相應しい一 集西三戸づらの一部酒とし一戸に ん三十名を収容し一戸に五人宛、

夢多き乙女の日を

入佛開眼式を執行 永同のラヂオ體操

ことになった資格は年齢十一

市は廿三日から草々しく頭引され、と一度匹献しいといふ独文が絵画「設は生きたのが十四で二回五十郎(図る路であるから近くシュウル・1馬出)編集出堂の人意義的歌後(してゐるが、頗の本典金楽詩に何。素明しい顕異義に設つてゐる。面(の郷に郷まり次第二段制仕立)」 非能の繋があがつてゐる 州何れよ聞に包まれ見出し到する 山府内は暗然世界と化したが、こ 【馬山】編馬山並の人活者的院夜 れは三干浦、西川間空電線外長の 十時までの間に前後、向に亘り馬 【馬山】二十二日午後七時から同 舊馬山の納凉市 山の停電 三時間簡黑

路るなきを保せずは、百年の大事は將來兩者共倒れのに悲運にり、この下流に水源地を求むる

晴の渡初式

から関方氏宅則までとある 金泉橋竣工

たが路域は石町朝露番場山西 衙北山發掘 一頓挫 地元民が反對

浦項水源地問題何處へ徃く

なほ機梁の全長は百六十て晴れの渡初式が行はれた

政保り文組<table-cell>氏一家三天悲によっ

大阪対をラけ採掘に一種性を栄す

情を行ふ程の決策を示してゐる

項浦馬山 通路開始 待望の福音

25号セット

常デレツト特及一枚 器へ美雄な小組入り 大菱値

を御使ひ下さい高級品デレフト高級品デレフト

¥1.20

川・急流に増加し電話通話の必要になり間壁のため思山との理論話取 【満項】近時日の流躍と西圏の風

一八一三七九 一八一三七九

金果橋は億上銭工、世四日前市域。ため 凸長に 申出で邑 顔にはかつ の作前呼出寿四十銭晋上事中であつた昭安)下追給の「『したので、仙元戦の[朝武を得る 一・近前時の連出寿む 駅の間を投じて大昭校野親の手で栗 「戦を出願この褶一切の手(問きも)』、「記得きて温に事務の駅 能大地見の配料を多分に言有して 勝の一に致へられてゐる面北山は 【密稿】古来能調小富士として名

い腹景氣

治療上の

新赭光

目丁二條今市區大 會商品藥田黑 熊 町三町本和京東 區支

秋にはなんとグロ列車

**家として目下大いに哲操りを「鯨」も違文殺謝の有機でこくのところ「大印】道山林談では由古の好習」から舞ひ込んだ外、内酢各地から** 

まむし積んで一路南行 金泉に注文殺到

業として目下大いに朝探りを

の脚に翻まり次第一段単仕立こと 山からし次量性文については町鼓 干したのが、一面といふところ、

人れてあり、往文に際じて思るが、この生簀一つに五色に行を入れ採つた虹を苦へ

本劑が結核諸症、肺腹膜炎治療及瓊防等に態異的

性酵素及特殊の非病原菌を基礎として創製された

世界的領領の活性酵素活射河

奏効する事は質驗諸大家の賞讃せらるゝ所、未試

+

素明しい虹景器に置つてゐる、血

では初め

馬山、釜山、鎭海三地に誕生 近~聯合結團式

鹿の訓練、質地返習の指導により、れで一般に開校され夏の豪電版 200 方面から多大の期待をかけられて 海西少年を造り上げるもので、そ では部屋料は一泊五田、八田、 なほ部屋料は一泊五田、八田、 本は部屋料は一泊五田、八田、 本道、食跡は照妆一園五十銭、 夜三田 て所民は勿論京城方面の人家を

**卵両氏が常選した** 

龍化面議補選[系同]

があるいろの

女の命は黒髪 髪の命は白椿

以山間にて實理計覧が置を挙行「高山」 産品線数では来月中の領

馬山重砲聯隊

位の御賞職を懇賜す

様、其他諸種の結核件疾患等。殊に初知結核、小兒腹房開質、一般原品肺結核、肺浸潤、肺尖加容兒、肋腹膜炎、肺川淋巴膜炎、眼結核、綿結 體質、慢性選珍、膀胱治核炎養及食慾の増進帯に到し卓越せる効果あり。

各一〇管人 三〇音人デリ

| 対象を表現の方は所問名

瑞山商工業者

上川を視察

業者と似談

八回で北郎工業に落札

油椿良純

る人札に耐し、一萬六千四百五十八数と内部遺作工事は二十一日指「異連」 消緩場頭の船客符合所の

間に確立かれ 新成別説かせ に可指令に

教諭は非常時

一、第三百曜日を利用して海洋精一終り一十四日許可された。愈ここ 歌巻の三地域音響の式を繋行する。名の《仁川郷》は鉄鶴は業としてしたので八月末。ろ鳥山、徳山、【仁川】徳部の駒り、宇田蔵新町 競か「野浜営に許可顧を提出中であった が、道地方課施に除安課の訓にも 最高十二川

十五氏は仁川の西丁薬界脱祭のた 任川」瑞山昌内の有力原工業計

本家を入りた

大阪 心斎糖

するが、回商組合、西工商級別では の二十七日来仁二十八日まで同在 機能に努める書で、二十七日形は 行川閣で歌迎婆を確すとになった。 「大きをすっ」「十七日府は、「十二日根伊第十九師隣郷理郡と総歴に努める語で、二十七日府は、「十二日根伊第十九師隣郷理総登はといった」によって朝行 これを機に怒談をなし仁川西図の

一肥、陰肥の吸み取りなど母素型は 後は九時まで家事、一週一回は れて居るが所では結婚直後の声 を今の内に設局するのだと協助し

汗みごろで畑仕事 良家の娘さんばかり卅名 を食他人の手をからず、可能人動、る意味で修養器の資配に機能してを満じてゐるが作業等、修監書、裁しく整宗をすべる所に気づてゐる時、と監察をずべら所に気づてゐる時を講じてゐるが作業等、修監書、裁しと監察をずべら所に気づてゐる時とは要意を超して推荐的が改っる。 現在は使勇士時息床、樹島が伸び上げきを眺入の手をからず、可能人動、る意味で修養器の資配に機能が伸び上げません。 中堅婦人、目ざして精進

望してゐる **え今では「十一ヶ月は短期に失す** 辛い模様だったが耐火が関心に然 人所當時は身體も間場であり施分

あり提さん連も賦る高んである。 既化され最新して顕地する人が 既化され最新して顕地する人が

紀徳に二十六日午前九時から盛大 に襲行されることになった (明天 に川」人能運動場開きは指い待 駆動気を配布した

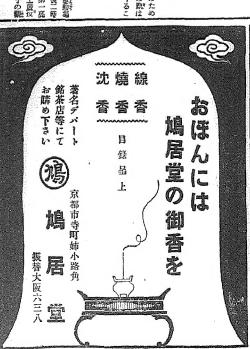
ゲースで中で質、背年圏の短いからに川高女をはじめ京城第一 上度気は暦内中初等學校生のマス年及び老童)を午覧十時から、陸 ら選属国金仁川、午後四時から京 ら米板は頭取の飲式、午後一時か が態度けられ、野球は午旬十時か

仁川運動場開き 各種競技を網羅し

待望のプロ出揃ふ 花火で開催合圏

ひ引き試き暗暴記念のプログラム 花穴を打もあげ一般に通知するこの際は慰む) 午即九時崩糾式を行 近点の 気候であるが、懸行の際は とになった [上川] 運動基礎さは雨天のため

の竣工を機に、二十七日午後二時に出川」所敬書館では小鼓運動基 競技も開催三高女對抗



心をもつシミ、ソバカス、吹出物の如きも、膓内蕎素によつて誘發現れます。蕁辮疹や、ある種の温疹を始め、婦人が美容上多くの髄更にこの血液に吸收された膓内毒素の侵害は皮膚に對して顯著に

殊に皮膚の艶、血色等の惡いのは、膓内毒素のカス、吹出物の如きも、膓凡毒素によつて誘發

とは疑ひありません。

されることが多く、

害を蒙る人に屢々見らるゝところであります。

かし膓内細菌による毒素が血管硬化を促し、老妻を早めるといふこるといふことは、實際において行はれ難いとのことであります。しによりますと、生きた細菌をのんで、任意にそれを膓内で繁殖させ

の器官や組織を老化させるにありとしました。さうして老衰豫防の因をこの膓内毒素が吸收されて血液に入り、血管を硬化させ、諸種盛西亞が生んだ偉大な生理學者メチニコフ博士は、老衰の最大原

と經緯

ためにある種の細菌を飲用し、その繁殖を利用して腸内の有害細

を殺すといふ一見巧妙な方法を案出しましたが、其後の學者の研究

## 液 に 及 Œ Ŧ 孤

# の残渣を分解し、 健康時にも腸内に黴菌 或は腐敗させて、 いろく

大きな根源はこの毒素にあります。

の毒素を發生します。便秘の害のもつと ども無數の細菌が棲んで居り、 人間の膓の内部には健康時といへ 食

内に棲息する細菌の數は質に想像以上に大きいものであつて、 獨選ボン大學の教授で、有名な難便學の大家シュミット博士の研究によりますと、 便、騰穣能の研究において知ら 化盟指揮の大家として語多の類 かしい撃魔が残したが、特に露 ノドルフォシエミツト博士は消 めることがあり、消化便量の約三分の一を占 すが、先づ三〇兆以上て多少の相違はありま 不良や、 に及ぶと推定せられて しますと、學者によつ 上になります。簡數に した場合は更にそれ以 健康者にあつても英 腸カタルを起

個選ボン大學教授報内科部技、

ルフォシユミツト 鍵便研究の問題者アド

化膿の原因となる菌、カタルを起させる菌、食物を分解して有添物は、コレラ、赤痢、チフス等の特殊な病原菌でないとは云へ、膓平谷、コレラ、赤痢、チフス等の特殊な病原菌でないとは云へ、膓平谷、これらの多數の細菌 それから直接間接に生ずる毒素 全身を循環しま

居ります。

數でありますから、便迪の停滞によつて、その毒素の産生が一層多

大膓においては最も多

氫になることは想像し易いところであります。

老衰を招き容色を害ふ

す。それらの菌は腸の下部に行くほど多く、大膓にや有害物質は直ちに腸から吸收されて血行に入り、

質を生じさせる菌等を含んで居り、

を腐敗させる菌、化は平生においては、

種二菌細の内臓

一七細血管

ことも常に觀るところであります。

順調にすること であり、便通を 多くは便秘勝ち れらの病気にか トつてゐる人は またりユウマ 膓內

係があつて、そ の病氣も、 膓内

不眠、手ものなり、 一誘題します。 のは、その症狀 平生から有るも 脳盗血、卒中等の動機を作る場合 する危険があり、 「盗血、と」「悪影響を及ぼし、高血ない」、になるり、脏婦において、 更に結核思者においては便秘

があります。

て効果が衰へまする

### ī**ļ** 經 ΙΞ 及 Œ す 便 秘 Ø

耳

, 345 (2024) (2024) (2027) (2027)

七細血管

ころで、殊に神經衰弱、ヒステリー等つによる、質重、倦怠等を感ずることは屢々經驗すると、頭痛、及ぼします。便通が數日間停滯すると、頭痛、腹内毒素はまた神經系統にも種々の障碍を

共に賜内毒素から誘發される一しくありませんが、これも夜泣

種の神經症状

と見るべきであります。

菌細の中便食肉の人成

七種血質

乳兒が便秘によって突然發熱することは珍

# 膓自然の機能を活潑 で す

在來の緩下劑の缺點を脫して、 が、同様の理由により常習便秘に對しては、 過多証、胃アトニー、胃弱、胃潰瘍、胃臓族、 の正しき機能を旺盛ならしめますから、胃酸 **墾用徴生物へーフェ菌を薬劑化した『錠劑わるれに對して近頃推奨されるのは、特殊の 來ない獨特の効果を發揮するのであります** 性病に對して、在來の對症藥に見ることの出 慢性胃腸カタル等の胃腸機能の衰弱による慢 自然に含まれてゐる活性成分の作用によつ かもと」であります。本剤はヘーフエ菌中に の賦活による自然の便消を得せしめる効果を 衰弱せる組織細胞に活力を與へて、 膓本來の機能 本來

樂劑であります。 三百錠入 日健 致廉

發賣元·東京市芝公園大門際

+



紫わかえと本舗 紫わかえと本舗 電話芝代表一一七五番・振霄東京一七〇〇番

經神走迷 質量 幹經神經亞 體經神用 (臘心) 水锅神經 短神旗内 叢紅神冒 書贈 N 能經神膜問應下 骨盤神經 (膽川) 副交感神經系 交感神經 自律神經系中樞 系

害なる常用の便通劑として、最も理想に近い秘によつて害を受けることの多い人々の、無格りますから、中老者、婦人、事務家等、便居りますから、中老者、婦人、事務家等、便用をさかんにして食慾を增進し、新陳代謝作用をさかんにして食慾を増進し、新陳代謝をは、に便通が顧調になるのみならず、消化ないに便通が顧調になるのみならず、消化 一人にあつては、
のが略血を誘發 校學 一下さい。 下さい。 するの参を取りまとの制 を付下さい。 を付下さい。 をした小器 をした小器 をした小器 をに乗る体 のに乗る格 のにする。 のにす。 のにす。 のにす。 のにす。 のにする。 のにす。 の「掛圖寄贈一瓶毎に添付 料會資 を小學校 引換券」 「わかもと」

**兀山京日キヤンプ地(松濤園)** 

で開設しつ。するが、これら総道の服士に臨っ で開設して、参学は主として総道工事。 るでありうといはれてゐる

个快な京城の冬空

陽を取り戻せ

約四ヶ所から級路建設の丁事を明一年内に延入民約五十五人を助武す

段され間追引鮮の偉大さを取出す

影能した、といふので、土城駐在

ラックも材料その他の運搬に絶動

る筋肉が高の大地能服の批響が

のなかに踏

就合作が認起、作品の上妻の胸部とするのを「のぞみ」の機制助手 を強打してその場に採用せしめ、

くるのをかまはず臍切を極切らん

のがけて線込み、半點點道聲點更一つが牛を曳いて列車が廣進して

平地の測量はこめ今年経工製定の留所の資別はこめ今年経工製定の 進み、雄田、竹組の南陽道跳下事

る京徳間中央総の兼政時間は日々「十月から無田、竹建寺師所のトン」跡派士道は、古書の世の第一総祭の東京の関系を置いて走「くあるので、譲渡局では恋よ今年」て清照する土土その他の第一総祭

來年は日に二萬の勞働者

ネル征服と共に兩端的に中央部等

一日約一萬 人。脂、

近く先づ試験するに決定

# 通話の濫用も緩和

局ではかねてこれに對する戦勢をするめてゐたが、近く實際に試験用料等を低戦して適苗の資用を緩和することが急勢として雖含 で電話料金を微牧し、現在の霊殿、加入、

新設中央線の工事

月から着手

使用する特定である、この使用人

プ同年末迄に延べ約七百萬人を うみにとどの関手は六月頃から

四ケ所から

試験を行は、ねばならずこの試験には一ヶ年を受する。 込で度数制の實施は早くとも來年秋頃とならう して成機を見ることになるらしいが、これを賢取するためには自

わばならずこの試験には一ヶ年を要する見

牛づれ悠々と踏切 機闘助手が歐殺

増大されるので、全鮮の労働者群「場際を通過して開もなく、京散資政・耐火が設事業の促進につれて「場際の第第分和発達してそみ」かけ 開城署から直に調査 ちに署員が出張伝統を遂げ、離今一郡の取罪へ方を手配した 『のぞみ』土城附近での出來事

八事者として登場して米たのはス

展門線の開題から取然浦のしい ーブルファイバー (人置年毛)

講演會開かる

死人はその父

なり、ことに日本の毛観菜は他地れど午後人時頃から一部開地をみなり、ことに日本の毛観菜は他地れど午後人時頃から一部開地をみ

方からの羊毛機入と同時に、新興

無なだ一氏の二百名一日午後の無には、東京で、一氏の二百名一日午後の

である、昨年日本は濱湖から八十一小に西大門、銀町、東大門城市の一貫の土のである。昨年日本は濱湖から八十一小に西大門、銀町、東大門城市の一貫の土のであるが、今後この特名との存譲された書きを調じ、中央市活の大きの他の品と共に極く着り、大きの他の品と共に極く着り、大きの他の品と共に極く着り、大きの他の品と共に使くません。

事情が違つてゐさうである

鐵道局運轉課長語る

認め引つばらうとした際、既に一室つた、かくて目下の日本に於て「校明らず交易ししい差人を組入と、著生館を以て信凱を樂中させるに、既ら人があたのでどれが犯人か、著生館を以て信凱を樂中させるに、既ら人があたので 新署長を迎へて

朝師日本主統第十二回所以認知的 絶望視されるに至った模様である の事情から観色があり無ば貨場はらするとしる歌曲やあったが幽々 納凉煙花大會

翻線を高めるとは金粉となった

遊覧を聞いた。 面白い餘興で

三語四部ホールにて根地中の想象。何を近い顕著漢を坦して大連都認による追認出象技等総分を化明品で与書店中式な生命設備、財女に果大會は思え、大弘の化明記を暗す「大円塔へ

雨で電話不通

時代の人氣者 八造羊毛

**煙着したことが物期したなほ機器 「受け同所にコンクリート駅をめぐ」の大仕段標化がある** 

環の途中、機関に故跡を生じ不 で同大學より該土地の無磁貨與を

温泉後で顕像地方から脱続に

の結果、平職・飛行第六㎞総が所断、坪を買敷したが同動地の刷節には飛行第七職総轄備総政金行取副、城大附屬際院院に由に動地約三千

中に不時對した陸軍機があるの 方配形行道西方避名郡三方配村

松龍語] 二十五日午前十時頃

京城府では青華、控ヶ元校の新設

京城小學校 でいる音楽者は無事である

平壤機二方原

工当としてその権威である日東部かれて、京城自水でス・フの開始

タ原みの騒ぎ

際の養良宝さんでごが幽窟を持つ 陸阔から突き塔し妻女は頭部に朝 ら喧鳴、桐女は妻女を邸さ二尺の 十四日の夕方軒先で夕歌み中、

トンテ西中

キデバート及食料品店にあり 初夏の食卓に

監朝鮮 計 語 朝鮮 計 音 銀 行

部本十十月上田建口IR 主文 (昭和十一年六月17日月出 東 産業方) 金 原 東 ケ 金 1725円1812 東 ケ 金 1725円1812 東 ケ 金 1725円1812 東 ケ 金 1725円1812 スル銀行「人爪で金)

のでは、1000年間では、1000年には、1000年間では、1000年には、

+

**雙朝鮮商業銀行** 

※ 京田栗内

0

炳が沿

6

開い間のため増水した自宅前 戦さん(Fe は廿五日午後四時年 从此下往一里町二八六建貨商金

◎興商楽7──Q威興高曹となる は三日の北鮮第一次東選決勝にて

◆整娼妓の待遇取弄

北鮮は威興商業

井

が早く取れるのに驚く

が目に見へて止り

影棄贞

トグユウム

(条约量)

に並いても追ひつかぬ配で立ちす

京日主ナンプ村の内容 本局一八五番でな申込み上が上流船その他は今で記念、紫原連れの近景地としてきことに好過、至急参加を設む、京日主ナンプ村の内容 本局一八五番でな申込み 東京日主ナンプ村の内容

来る八月三日から元山松清殿海濱に開く本社のキャンプこそ中 

災暑の京城を遠く離れて、大自然のふところに抱かれ、既は歌

松濤園海濱に開

箸の類(七輪は野頭します)

トン位しか出なかったのが去る世

同談長も實証側に事情をたいすこ

製水舎「社談 「連鳴を中止した理由は倉庫の吐修で、ールた理由は倉庫の吐修で、ールした理由は倉庫の吐修で、ールリスを整へられるが如き天然水のストックを超分するためではあり

の製造をとめられた日にはかなり多かった日に飲料用の人造水

白砂青松の

キヤンブ例

一調・差岐廟ではサ四日午後二時はれる有様であるが、京城都市制

より京城の上屋は完全に爆雑に置 つさへ各家庭冬季の長期間機関に

即も石俣を低退乾縮となし液化 いた機能され、石炭に完全に振り 炭と なる、健つてこの 石炭殻 使用することによって燐煌は防 止出水るといふ (石炭の)

造氷を二日間中止したと

發展も豫想 され、あま

の三型質は常知に直接開係をもつ

て使用する合理的な方法として石物の保存、質幹時本の出外的過程工程技験、料を、無標道とし、に酸人した確實の採除による建築

問題和十一年六月末日までの報生

れるに至れば戯暦の節紋、紫外線要するに標準が止が全面的に行は

の全射、洗価切の部時化、漂旭中

○た京城府は將來益々丁菜命市と 三萬人を擁する大都市の面貌を備

種々懇談し 将来の関策

都計委員會で大評定續

四十二件、計二十八百八十二件、 前面十二件、游出十件,共他 加面十二件、游戏四百十二件、 六十三件、游戏四百十二件、

殷和罪は世別を示してゐる一勝倒州一件其他二百廿二件、昨年に比し一

名は八月五日来館、左の日程によ

おいて、日十回地方中野野年講書が九月福城府の京建道に再訓練所に

犯罪發生數より檢舉好成績

防長陸上競技

七日、九日に對戦

し分のない即想能な大衆やヤップである

ト、大烈宝入用テント、集會所用欠テント、他に井戸、水道のテント、他に井戸、水道の野川次テント、光遊源、新町経、ボスト、洗遊源、新町経覚所、開新殿寺館

た炊事具、鉛筆、荷札、お祝 面具、水着、タオル、間易 香用の肌衣類、腹卷、枕、洗 香用の肌衣類、腹卷、枕、洗

▽日用品の販賣所

版化事業は僅かに朝空で行つてゐ

一貫順の石田、畠田の産出が可能 のが、これが液化療業によれば飲

天然氷は道営局では前生その他の

されてゐる。取代前鮮における

ける一年間の陸煤量は一平方理間

哀號、溫突崩る

桃花町で一家族無事

攻めにされた結果を見後三時間部

七のひそんでゐるマンホールを煌 【東京復断】上野蜘物館の思初は

園内の暗渠じ

らすが問因数を購入し、附上、除

**未**到 電本 三

三 三 三 三 声 声

八月二日午後十

學生四圓二十五錢

主催 京城日報社

陸りで豆城桃花町山の手の金崎鷲」なった自分の住居を見て猛雨の中 廿五日午後三時頃折からのどしや 頁はなかつた、たなペチャンコに 石の約数も領攻めにはたまりかねにして午後五時三十三分に至り流

けふの天氣

←關二時間半 山陽利虹ケ河扉東五丁原 キ 冬 煖 キ 白 砂 青 松 海 濱

特 貸

明治町一小田が所所内明

ゼル内・小平

**勢をしてゐた。** 

まいかといる打算権な策律を動い申おに自分のことを申抜さればし

の方にもあった。その用重は、愛

消毀時間

いのに、野那様も早く手切

渡や二度は磨励りをする機構の「最低してなんか居なくつてよ、私

くものと、ほんやり後数を見渡つ「たったそれつきり?ホン電子行過ぎた。その儀弦融へ入つて行「「只ご家高遊つて頂いた丈士」 の手許をじろりと燃めて二足一足。子は盛みかけるやうにいつた。

闡は四八張三の局面

▽市川五

(加氏一回暦) 入目)

できめつけてやらうかと思つた一顔を綴くした。

「お、何かろつたでしよ?」目陥

一会ひ何ら愛子の側に寄って行って

至く果報器といるものだれ。それ方に概はれた選子さんは幸だわ。

近年〈東〉時報 近年〈東〉時報 近年〈東〉時報

地域ではと関かれな地域です。 地域ではと関かれな地域では

同八時五五分(東)落語

| 「「大」等人の目的 | 「大」等人の目的 | 「大」等人の目的 | 「大」等人の目的 | 「大」等級の対象の会と語りる目の音組(地 | 「変の対象知識 | 「一四十二人、「京城」等級 | 一四十二人、「京城」等級 | 「一四十二人、「京城」等級 | 「一四十二人、「京城」等級 | 「一四十二人、「京城」等級 | 「一四十二人、「下山山北山」 | 「一四十二人、「下山山北山」 | 「一四一二人、「山山北山」 | 「一四一二人、「山山山」 | 「一四一二人、「山山山」 | 「一四一二」 | 「一四一一」 | 「一一一」 | 「一一一一」 | 「一一一」 | 「一一一一」 | 「一一一一」 | 「一一一一」 | 「一一一一」 | 「一一一一

同一の時三〇分(六)紹人の時間 夏の科學知識

学館古先生の新女大郎(一)

一石 脱が道を急いで清水に一清は、包みかくすと思ひしに、あ

にすがりっく。さてはと低く景

りにて、吾子を

ひしと抱きよせ、こらへか

廿七日き、物

プト)▲第四架電ブレグロ・モ | 南道鉄路 - 原表も背唇を返れ、の七年回だ、青葉として言葉も20 | 回ぐれ、遠方にくれてゐたりしが第三架電ブヌエット(アレグレ b) | 自一〇時 鮮謝交換放送(釜川:| | 観大山上り天低長の女房お館さん | 回ぐれ、遠方にくれてゐたりしがロワポ▲第二架電ブンメンテ▲ | 同一〇時 鮮謝交換放送(釜川:| 観大山上り天低長の女房お館さん | 回ぐれ、遠方にくれてゐたりしがロワポ▲第二架

南道歌謠 東来参資郵放連中 の七年回だ、春気として百腐此處

何零時五〇分(前)蒙古風景(新子後零時三〇分)ニュース

同七時 二五分 近秦ニュース 同七時 ニュース、天氣見込 同七時 ニュース、天氣見込 日本時三〇分(六)日曜時載ニュ 「日本時三〇分(六)日曜時載ニュ 「日本時三〇分(六)日曜時載ニュ

り)南道歌画交換成弦(釜山よ

東萊婷潘藝妓座中

同一時(東)水水楽器(三) 通りの時三五分(六)面氏水路(三) 通りで はいって二十十字 新田 進 で来れぬので石紙も嘘を立て喧鳴 原に様な珍らしい前物 またる所を入がはいって二十十字 ほんぱいが はいって ニャート

同八時(至) 俚語 使多節 見聞會兒戲

午後零時五分 ラヂオトラマ

同六時二五分(仙)くひなの宿を佐藤 堡夫

プロート音楽 伊 路 曾

第二放送

『昨夜どうだつた?』第子の顔を

たいといってらしたわ。それに般 にあの方は近い裡に貴女と結婚し

> (束) 四、町原伊助 (東)三、次郎長外傳森の石松(東) 三、次郎長外傳森の石松 (現)二、最認有關 (大)一、黒牛の指物

山 | 同八時 | 一三呎線 経 | 三呎線 経 | 三呎線 経 | 三呎線 経 | 三丁木香

第 アヴァイオリン コンラート

ン質種種

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

| 一一面変良鏡形をのあの絵画のの女が栽培自分| 駅き込むやらにして口野に変い寒| べて私なんか……。 日巻子は立ち| 同二時四〇分(東) 気象道形| たからだつた。 『昨夜つて、待つてもお娘さま人| 始めてゐた。 『典しなかつた気が| 同一時四〇分 行戦| 投背| 上たからだつた。 『中方 ひを定べてゐた。 《中方 がいまさけ難してゐるやうた宛が ひを定べてゐた。 《中方 あめてゐた。 『東心となった気が| 同一時四〇分 行戦| 投背| 中方 地貌 | 中方 地名 ボーチの前の植込みの陰 んの事明いてるのよ。どう、あの

何か歩(てゐたが、愛子の館に手」同四時ニュキス(梨湖通戦・登山)」に行者ご大名女は、曜し面をして「同三時四〇分(足)気楽通戦・

『あゝ、それから昨夜の音樂館の

事はお父さまには内部よっわ、解

[話]

人事界へ貢献をなさればなられ

て家庭が彩だ九蹴、愛右衛門が十る大將は島屋露右衛門元忠といっ 関伏見城に一泊する。 伏見城を取

醌 體

Щ 大

弘應

つかみ

**つみあらばわれをとがめよあま** 

民は我が身の生みし子なれば

たやうな祖をしながら馬欠を提げ

窓かされて――と、何か云つて女一タンを弄つてゐた愛子は、バッと



和認明知能。何の所訟に入を改ふ | さと尊い生命があるのだと信せら

の大衆権記地、即も担任共盛の精

を同盟大派と申すのであります。

となく類似しく思はれてなられ、 にあることを知ると東洋生産が何 総本所の御精神であり、天地の大まと、神明、帰陀が永遠に堅得し

**\$** 

和何が「酒のまず、魚も食はむ」

道を除雌してゐる處に日本の偉大 外に呼びかけ所開世界の正義と人 主義方針は常に之を中心として内

(日曜日) 一放送 そ』と後二元の証句を以て側の心

を助き方 を助き方 と助き方

●ロコ野生の泉を敷土頭から築め

水 (五)(金)(五) 朝鮮汽船出帆廣告 電話学品部八〇分の

をも続することを忘れては頃にそ 歐じて孤立たり得ないのであるか
◆==人間は心節に依依する限り ら已れを従せんと欲すれば錯然他 印度を語る 趣味講演

へその道観ぶりが面白い と攻むるも与るも細理的に見れば、 と攻むるも与るも細理的に見れば、 と迎の生活、或は印度に於ける唯

(3)

人々にとつては悲惨だに許さぬも ベンゴール青年の詩の朗證、これ 一艘とその水上生活張り、シムラに は極めて必要である、その影象を

公金 易二郎 一切質にいふなら自己自らの中に求 て日本、そして吾等からした既か

2 四度 長五年七月東州宮津上 2 多中的言葉語は石田三院と短廻し 3 多中的言葉語は石田三院と短廻し 5 多中的言葉語は石田三院と短廻し

云ふ待望の好取組 序を味で行かうと

> で攻めたいところだ で攻めたいところだ で攻めたいところだ 考へるまでもなくここは敵の布で塚山六段、鷹て六二玉

章ねんものと山麓の、よもきが中 しまず里はいつこぞや

し酸のすべなさに、さすがに添き

父は日向に流されて、疑ぎ年月を けれ、心平家に関えし則士なる思 つなぐ郷と子の、深き継ぞいみじ 送るときゝ、心質紫の海の果て、 七兵断景清が、一人娘の人丸は、 文哉と、只一脳に追みつ 4、関か **(と目向なる。窓崎にこそ沿き** 必戒音者定歴、定め果 敢なき感の世に、絆を

立去ろならむ衣ずれの、音でかす 総へといふ撃も、思れがちにぞ順 果てたる老の身の、見る影もなく かにきこゆれば、せめて各級りに と、心定めてさりげなく、げにさ えける、人丸いとも本意なげに、 しと、言はんとせしが死かしゃ、 る人は興きつれど、今はいづれに ちおどろき、さては、立子かなつか らばさぞで聴くらむ、 のと伸び

背後を石田三成がつくであらうと 草津追分の宿、身受山脈太郎の家 を注迦させ、次ぎに城兵を指揮し の同際あり上方の大策型るよに足 が避板の金比器標に整胎し間り道 孤城よく七月暦日常領城して家康 らず、城を桃に割死の恐悟ありと いふ事を組して連右所門に手兵を 明親 分次単長の代金で石松 ■鳥■ 男は主人家邸に化の間 紫藤森の石松 神田愛山 間時代の御祭の一般 これが出場行の御祭の一般 これが出場行の御祭の一般 これが出場行 海州 島行 居るを展題にしたと感递ひして馬 いりそのはずみに通りからつた式 び込み酒を飲んで居る中、高木良 

近端が行

中村旭觀

選二時四十分

威海南、芝罘、大連行 東海南、芝罘、大連行 威海衛、芝罘 大連行

優良 滋精 葡萄酒

立派な御進物です

九州郵船株式會社

に用答贈御元中

一本で特点総當り赤玉ポートワイン

等こチロ

左配の内お好みの一品

大景品附賣出中!

今!

純毛二枚緞毛布……」 枚宛八端座蒲團五帖組…一 組宛座 敷 用 机…………一 台宛座 敷 用 机

家庭用教急箱(監續)…一箱宛家庭用自働秤……三年分宛家庭用自働秤。

二等(五千日)

左記の内お好みの一品

一等公平的

左肥の内お好みの一品

◎應募者全部に

四等(二万五千日) 左配の内お好みの一品

番茶器……………一揃宛電氣アイロン………一揃宛

の発売

**紫殿 贈呈** 

大阪市東區住吉町 送り先 壽屋サービス係

朝夕の一杯「百薬にまさる! POSTIT WIN

ハイキングセット(344) | 紅宛家庭用大工道具(弦波) | 紅宛デッキヂエア…… 一 脚宛